

地域団体等からのご意見

【目次】

番号	要望日	地域団体等	頁数
後団001	平成25年2月27日	中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会	20-22
後団002	平成25年2月28日	中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会	23-28
後団003	平成25年3月14日	中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会	29-32
後団004	平成25年5月14日	八ヶ岳リゾートアウトレット	33
後団005	平成25年5月15日	山梨県南アルプス市観光協会	34
後団006	平成25年5月15日	山梨県農業会議	35
後団007	平成25年5月15日	南アルプス市商工会	36
後団008	平成25年5月17日	山梨県中小企業団体中央会	37
後団009	平成25年5月20日	株式会社キッツ 長坂工場	38
後団010	平成25年5月20日	一般社団法人山梨県バス協会	39

【目次】

番号	要望日	地域団体等	頁数
後団011	平成25年5月20日	韮崎市商工会	40
後団012	平成25年5月21日	一般社団法人北杜市観光協会	41
後団013	平成25年5月21日	公益財団法人キープ協会	42
後団014	平成25年5月22日	山梨県女性団体協議会	43
後団015	平成25年5月23日	社団法人山梨県建設業協会	44-45
後団016	平成25年5月23日	北杜市商工会	46
後団017	平成25年5月28日	中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会	47-48
後団018	平成25年5月30日	八ヶ岳青年会議所シニアクラブ	49
後団019	平成25年5月31日	中部横断自動車道経済懇談会	50
後団020	平成25年6月21日	中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会	51-53
後団021	平成25年6月21日	中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会	54-56
後団022	平成25年6月25日	中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会	57-65

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年2月27日)

2/27 説明会 後団001-1
八ヶ岳南麓(1)

住民との対話なき「早期建設」の説明会

皆さんに訴えます !!

北社市は本日2月27日の中部横断自動車道長坂～八千穂間の八ヶ岳南麓新ルート案の「早期建設」の説明会を、一般住民を締め出し行おうとしました。しかし、多くの住民の強い抗議でようやく説明会への参加・傍聴を認めました。

道路建設には多くの家や田畑や景観が犠牲になります。ですから、地域によっては道路建設に住民が参加して構想段階から検討がされるようになっています。しかし今回の中部横断道(八千穂～長坂間)の新ルート提案はこれまでのアンケートにも全く提案されていないルートが突然な形で出されました。当然にも多くの人が全くの「寝耳に水」のことであり、不安に陥り、憤り、納得できませんでした。

私たちは中部横断道に反対しているわけではありません。新ルート案を撤回し八千穂・長坂間の山梨県側に関して「どのような道路にするのかルートはどうかを住民がともに考えてより望ましい答えを出すプロセスを作りたい」と願っているのです。

国交省が突然に提案した新ルート提案を容認して早急に進めるとする北社市の考えとはその点で真っ向から異なっています。

北社市は「災害時の代替路の必要性」を主張しています。長野県側のように国道141が1本しかない状態なら代替路が必要です。しかし八ヶ岳南麓は八ヶ岳横断道、国道141号、県道28号線、広域農道をメインに網の目のように道が作られています。

国の説明会では今回提示された新ルート案には多くの問題があることが明確になりました。そのことを冷静になって考える必要があると私たちは主張しています。

八ヶ岳南麓新ルート案地域は国交省による「日本風景街道」の一つ、「八ヶ岳南麓風景街道」として登録されている地域です。ほんの一時の人間の満足を得るために、私たちの家、八ヶ岳南麓の自然を破壊して良いのでしょうか。

北社市は、北社市民憲章に基づき「環境日本一の潤いの杜づくり」を目指しています。この言葉にたがわず住民とともにある市政を進めてほしいと願っています。

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年2月27日)

2/27 説明 後団001-2
菅 高(八ヶ岳南麓)

私はこう思う

新しい高速道路の建設よりも、
既存の道路をずっと使っていけるようにすることが先

昨年12月2日の笹子トンネルの天井崩落事故以来、トンネルや道路などのインフラの老朽化が指摘されています。中央道は建設以来35年が経過してこれからの維持管理に多大な費用を要し、県内の道路も補修が必要な道路やトンネルが多数ありますが、こういう現状の中で国は既存の道路の建て替え費用はおろか維持管理に回す費用は計上せず、新しい高速道路・中部横断道の建設を進めようとしています。

これは誰が考えても順番が逆です。まず、今ある道路をきちんと整備することが大切です。今ある道路に何かあれば、買い物や外出など日常生活もままならなくなってしまふことは明らかで、住民にとっては生活の安心、安定が一番の課題です。

山梨県内では、12年4月時点で修繕が必要な市町村管理の橋674本のうち、実際に修繕されたのはわずか9本、1.3%にとどまっている現状です。これからこの橋は、道路はいったいどうなっていくのでしょうか。トンネルも同じです。川府の愛宕トンネルでは、1月27日にモルタルがはがれて落下する事故が起きました。

中部横断道に2000億円の巨額の費用をかけるなら、それを既存のインフラの整備に当ててもらいたいものです。

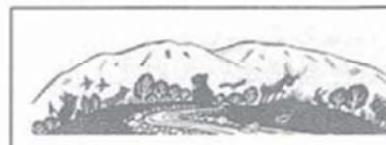
「能越自動車道」づくりから学ぶ

今回の兩麓での説明会で、国の政策決定に一筋縄では住民の声=民意が反映し難いということが浮き彫りになった。しかし、以下のようにすすめれば民意は反映出来る。

「能越自動車道」では、合意作りをすすめる基本的考え方を「構想段階における住民参画の取り組みを推進する」とし、「みちづくり懇談会」を設け、その中に地域にクワイの住民8人をワーキンググループ(WG)として設置。延べ700人もの参加者を9グループにわけ、8ヶ月間に6回のみちづくり懇談会と15回のWGを開催し、ルート帯案を議論した。その際、参加者全員が自らマジックで航空写真にルート帯案を描き、かつ、帯案沿線の町会ごとにタウンミーティングを開催。そして6つの案から総意として1つにまとめた。(事務局は国と地方自治体とし情報提供・資料作成のみ)。教訓として田中氏は、「行政側より複数のルート案を提示するのではなく、住民自らがルート案を決め、比較、検討する」ことが重要だとし、また、そのようにすすめれば、「必然的に、個人的な希望・要望は適用せず、将来の地域に望ましいみちづくりへ論点は絞られる」と述べている。この経験は中部横断道でも生かされねばならない。

資料 ～能越自動車道(田鶴浜～七尾)みちづくり懇談会の取り組み～

国土省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 調査第二課



中部横断自動車道八ヶ岳南麓
新ルート沿線住民の会ニュース

No.2 2013年2月25日発行

国による地元説明会終わる

問題点について、国から明確な説明なし

1月30日から2月16日まで、計10回(そのほか平沢で1回)の国土省の地元説明会が行われました。ほとんどの会場で200人を超える参加者がありました。会場では質問、意見が相次ぎ、時間切れて閉会のパターンが続きました。

国は、質問には決まって「ワーキンググループに伝える」「データはない」など、一方的な説明に終始しました。

WGの委員が説明会に出席するべきなのです。それにしても「交通量データ」も高速の必要性を裏付けるデータもなく、ただ「高速ありき」だけで物事が進んでいます。そして、わずか3人の委員が神技で沢山の叫びを受け止め、この重大なルートの決断を遅く東京で行おうというのです。託せますか、私たちの思いを。

会場からは「早く日本海を見たい」の声もありました。夢を語るのは自由ですが、2,000億円の借金をして、孫子の代につけ回すことになっても俺は知らんというのでしょうか。

国道141号線の改良を望む声も沢山出ました。国も「脆弱」「危険」「急カーブ」「幅員が狭小」などと回答、ならば改修は緊急の課題です。

ぜひ国道を住民参加で使いやすく安全で走行性の高いものにして、かつ地域振興にも役立つよう皆で議論を始めることができたと思います。国、県、市はその議論の場を整えてほしいと切に思います。

2/27 北杜市主催で区長など対象に説明会 —— 住民は締め出し

市は、早期建設を求めていることに理解を得たいと2月27日(水)高根ふれあいホールで、区長、商工会、観光協会、地域委員ら500人を集めて説明会を開催する。市は「一般市民は入場できない」とし、「市民対象の説明会の予定もない」と回答。ルートがどこの場所でも早くできれば良いとでもいうのだろうか。高速の影の部分や心配する多くの市民の声を拾い上げる努力を放棄したのだろうか。それでは不公平、市民対象の説明会の開催を求めます。

*沿線住民の会の抗議により、入場およびホールでの傍聴が可能になりました。多くの方の参加を！ 当日チラシを配布します。

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年2月27日)

後団001-3

3/3(日)「沿線住民の会」集会のお知らせ 午後1時半～ 大泉総合会館ホールにて

- 1)八ヶ岳南麓には中部横断自動車道を通さないでほしい。
- 2)国道141号を改修してほしい。

と言う思いで、私たちは10回にわたる国の説明会に参加してきました。説明会で、皆さんはどう感じられたでしょうか。会場で意見の言えなかった方、話したけれどまだ言え足りなかった方、ぜひ、お話し下さい。沿線住民の会では、2月20日に会作成議事録と説明会の録音テープを小委員会に送りました。説明会は沿線住民にとったら出発点です。小委員会(ワーキンググループ含む)や国をはじめとして、山梨県や北杜市に抗議すべきことはたくさんあります。いろいろ不安を抱えながら暮らしている沿線住民の会の皆さんに集まっていただき、今後何をしていたらよいか、話し合いたいと思います。ひとり一人が主人公、みんなで知恵を出しあい行動していきましょう。ぜひご参加下さい。

- ① 説明会に参加された皆さんの意見
- ② 今後の活動について
小委員会・国交省・県や市・沿線の方に向けてやるべきこと。
- ③ 沿線住民の会からの提案



*3月とはいえまだ寒い時期です。各人防寒対策を忘れずにお集まり下さい

東京国土交通省前での抗議活動をします。 3月6日(水)に東京に集結しましょう。

国土交通省に対しての抗議行動と周辺の人に認知してもらう活動を行います。

- 1、 私たちの思いを書いたチラシを配ります。
- 2、 署名活動を行います。
- 3、 メディアを巻き込んだ闘いを通して、国民に無駄な国費が地方で使われている実態を知らせます。

できたらバス1台を出したいと思っています。参加して頂ける方は沿線住民の会 [redacted] までご連絡ください。 [redacted]

*活動時間や移動の方法は後日お知らせします。

署名活動のご協力を!

現在6,815筆、10,000筆を目指してしています。(署名用紙を同封しました)

抗議はがきをワーキンググループと国交省へ送ろう。

ワーキンググループ

石田東生 〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1
久保田 尚 〒338-0825 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255
小濱 哲 〒230-0077 神奈川県横浜市鶴見区東寺尾 4-11-1
二村真理子 〒167-8585 東京都杉並区善福寺 2-6-1
国交省甲府河川事務所所長 吉岡大蔵 〒400-8578 山梨県甲府市緑が丘 1-10-1

国交省関東地方整備局

〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心 2-1 さいたま 新都心合同庁舎 2号館
池田 豊人 国土交通省関東地方整備局 道路部 部長

国土交通省(本省)

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 中央合同庁舎 3号館
<https://www.mlit.go.jp/road/soudan/form/iken.html>
岩田 美幸 国土交通省大臣官房技術調査課 技術企画官 技術企画官
〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 中央合同庁舎 3号館
<http://www.mlit.go.jp/hotline/hotline.html>
坂 克人 国土交通省大臣官房公共事業調査室 室長

◆ハガキ作戦用宛名入りセットを販売しています。(文例集付き)

ステッカーとハガキのセット販売 500円

3月3日の集会でも販売します。ハガキ5枚(宛先5か所)ステッカー1枚のセットです。何組でも買い求めください。(カンパも含む)抗議の文例見本付き。

◆カンパのお願い

運動を進めるには資金が必要です。下記口座へのお振込みよろしくお願ひ致します。新聞折り込みの手ラシ他各種チラシ、ニュース、発送費用、小集会や集会の会場費、立て看板、のぼり旗などの活動資金に使われます。

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年2月28日)

後団002-1

2013年2月28日

国土交通大臣 太田昭宏 殿
社会資本整備審議会
関東小委員会委員長 石田東生 殿
山梨県知事 横内正明 殿
北杜市長 白倉政司 殿

中部横断自動車道（長坂一八千穂） の「計画段階評価」に関する 申入れ書

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会

後団002-2

2013年2月28日

国土交通大臣 太田昭宏 殿
社会資本整備審議会
関東小委員会委員長 石田東生 殿
山梨県知事 横内正明 殿
北杜市長 白倉政司 殿

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会

中部横断自動車道（長坂一八千穂）の「計画段階評価」に関する申入れ書

中部横断自動車道八ヶ岳南麓の会等をはじめとする4つの団体の申入れ（「中部横断自動車道建設に関する申入れ」2012年8月30日-添付資料1）、北杜市別荘所有者の会の「要望書」（2012年9月15日-添付資料2）、国土交通大臣に対する5000名を超える署名簿提出（レインボーの会など、八ヶ岳南麓を通る高速道路建設に対し、これまで非常に多くの反対、懸念が示されてきました。しかしながら、新ルート案（2012年11月21日発表）でも八ヶ岳南麓を通過することにはなんの変化もなく、2回にわたるアンケート結果を踏まえたとはとても考えられない案を提示しました。2013年1月30日から「地元説明会」が行われましたが、小委員会石田東生委員長の提案（2012年10月4日、関東小委員会）であった「丁寧なコミュニケーション活動」とはほど遠いものでした。新ルート沿線住民の会も国交省への申入れ（2013年2月5日-添付資料3）、北杜市長宛申入れ（2013年2月6日-添付資料4）、4600名を超える署名簿提出（2013年2月6日）など、様々な働きかけを行ってまいりましたが、国交省は未だ回答していません。

国交省は公共事業の透明性を高め、事業の必要性を検証できることを基本として、「計画段階評価」を導入し、地元丁寧に説明し理解が得られなければならないこと、建設する道路が地域に望まれない道路であってはならないことを明確に打ち出していますが、地元説明会では北杜市民、市内別荘所有者から非常に多くの反対や異論、疑問が出され、国交省は十分応えることが出来ませんでした。

これまでの国交省の混乱した対応から、地元には大きな亀裂が生じつつあります。地元説明会に至るまでのプロセスをもう一度、初心に戻って、「アンケートから導き出した周辺地域の課題」が本当のところ、どこにあるか探らなければ、この地域に取り返しがつかない事態を招くことになりかねません。北杜市民、別荘所有者など八ヶ岳南麓地域に関わる多くの方々賛否を越えて議論に参加することが、「地域の課題」を住民の意向に添って解決する唯一の方法です。地元説明会は双方向的なコミュニケーションではなく、国交省による一方的な意見聴取の場でありません。住民の意向が反映されないのであれば、計画段階評価システム自体が機能しないことになり、公共事業に関わる政策決定プロセスに国民の意向を反映させることが、「だれが何のために使う」という道路の最も重要な課題と結びついています。

私達は、中央自動車道接続地点に至る山梨県側の中部横断自動車道ルートの選定を住民参加のもとで決めることを求めて、以下の提案を致します。

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年2月28日)

後団002-3

後団002-4

国土交通省は、中部横断自動車道の長坂（山梨県長坂町）―八千穂（長野県佐久穂町）34km区間について、公共事業の透明化と効率化を図る「計画段階評価」を試行中ですが、建設新ルート候補エリアである山梨県北杜市での民意が汲み上げられていません。このため、「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」は、計画段階評価の運用改善と、国交省が標榜する「市民参加型道づくり」という政策手法等の活用を申し入れます。

記

1 中部横断自動車道の新ルート案についての「地元説明会」が、2013年2月16日まで約2週間、北杜市内10会場で開催、終了しましたが、この場で市民から寄せられた多数の質問、問題提起に対する誠実かつ合理性のある回答が、2月28日現在もされておられません。

これは公共事業の計画段階から地域住民の民意を計画に反映させる「パブリックインボルブメント（PI）」を基本に据えた「市民参加型道づくり」という国土交通省の道路行政の基本理念と明らかに矛盾するものです。

加えて、計画段階評価は、「社会資本整備審議会 関東地方小委員会（石田東生委員長）」の下で進められ、2012年10月4日の同小委員会は「丁寧なコミュニケーション活動（地域住民・別荘所有者と国との対話）を行っていく必要がある」で合意、了承しましたが、いまだに国交省から誠実かつ合理性ある回答がない事実は、丁寧なコミュニケーションの不成立・否定を意味するもので、この小委員会の合意に反しているのは明らかです。

以上の理由から、「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」は、計画段階評価の今後の運営の“スタート地点”“大前提”となる、別添文書の質問、問題提起事項への文書による回答を、2013年3月16日を期限に国交省に求めます。

2 長坂―八千穂間の道路整備について、「地域住民の、地域住民による、地域住民のための道づくり」という民主主義の基本理念に立ち、すでに国交省が全国約30地域で成功事例を積み上げている「PIによる市民参加型の道づくり」という政策手法等を提案します。

3 「丁寧なコミュニケーション活動」の実現のため、関東小委員会委員と北杜市民・別荘所有者との定期的な協議の場を設置、今後、PI協議の場に移行・発展させることを提案します。

4 上記1、2、3について、3月16日までに文書による合理性のある回答、および賛否の意思表示がない場合は、意思決定権者など関係各所と直接、協議させていただきます。

以上

質問・問題提起事項

決定権限と業務分掌について

ワーキンググループ、関東地方小委員会、道路分科会、社規資本整備審議会の人的構成、機能、特に決定権限の範囲等業務分掌の開示を求める。

なぜ長坂なのか、その決定経緯

1 長野県佐久市と静岡県清水市を結ぶ中部横断自動車道の1997年2月5日公示の基本計画で、中間建設区間について、八千穂―長坂JCTとなり、長坂の名前が突如、浮上したのはなぜか。国土交通省に質問しているがまだ回答がない。なぜ、回答しないのか。国幹会議でどのような議論を経て長坂になったのか。その決定経緯と論拠を記す資料の提出を求める。

第1回WG（2012年11月21日）で、久保田座長がわざわざ長坂が連結点となることに言及して他委員からの同意を取っていたが、審議会や役所の手続としてはそれが正しくとも、非常に多くの地元住民が長坂であることに同意しておらず、なおかつ国交省が今までの議論の経緯等を説明できないのであれば、すなわち長坂JCTルートの合理性がなくなることの意味し、この計画自体認められないのではないかと考えられる。これに対する説明を求める。

2 2012年7月8日の意見交換会で明らかになったが、長野県側からは、長坂を起点に八ヶ岳南麓を通るルートへの要望やこだわりはなかった。北杜市側も長野県側もこのルートでなくても構わないというのが、住民の意思である。にもかかわらず、南麓ルートが生き残り、国道141号改良案が消えたが、その理由は何か。これに対する説明を求める。

3 説明会当初、国交省は「長坂」接続の技術的決定因として、「高度差を稼ぐ」ことを挙げ、須玉ICからは技術的に困難と明言してきた。須玉ICから国道141号線に沿った勾配図面（資料-5、資料-6）を提示した後（新ルート沿線住民の会作成資料）には、「須玉からのルートも技術的にも可能である」と説明会で変更したが、その理由はなにか。（資料-5、資料-6参照）

4 「長坂IC接続」の経済的理由として、「野辺山に至る長野県側と最短距離での接続」を挙げているが、長野県佐久市と静岡県清水市を結ぶ中部横断自動車道という視点からは、双葉ICに比較的隣接した地点を選択するのが、高速道路の直線性、速達性にかんがみてより重要である。また、現状の物流の入出比率と方向、東京や甲府などへの優れたアクセス

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年2月28日)

後団002-5

ス性、さらには、災害時のアクセスの良さなどからは、長坂 IC 付近の接続は極めて不合理である。長野県佐久市側からのアクセスを考えた場合でも、多くは甲府、東京方向であろう。また、小淵沢方向に向かう場合は、旧清里有料道路という優れた一般道が利用できる。

さらに重要なことには、須玉 IC 周辺への接続が可能となれば、近い将来、藪崎に至る国道を改修すれば、国道 20 号という地域社会の大動脈に接続でき、甲府盆地全体の活性化を促す可能性も大きい。以上のような視点をどのように考えているか、説明を求めます。
アンケートの問題点

計画段階評価で最も重要な事柄は、「地域の意見聴取方法」であるが、そのベースがコミュニケーション活動としての質問調査、すなわちアンケートである。アンケートを行う初歩的、基本的な考えは、複数の人に定型化した質問をして、定型化した回答を集めて、意見を数値化して比較することである。定型化した質問と回答選択肢によって、はじめて集計結果を客観的に偏りなく解釈が出来るようになる。そのため、アンケートの作成には極めて専門的な知識と統計処理が必要となる。また、作成ばかりでなく、対象となる人々の意見が偏りなく平均的に集められるためには、その母集団からのサンプリングには統計学的専門知識がなければならない。

ところが、質問項目作成、アンケートの配付、回収、集計等、いずれの段階でも、極めて恣意的、意見結果の操作などが行われており、小委員会（2012年4月12日）でもアンケート結果の処理について疑義が出ている。すなわち、計画段階評価の重要な柱となる部分に大きな問題があり、その結果出ているルート案自体の根拠が崩れている。

それらの具体的な問題は、昨年から様々なかたちで小委員会に対して質問が行われているが、国交省事務局も小委員会もあまりにも不誠実で無回答のままである。

国交省のデータをもとに私達のグループが数値化した結果を資料-7としておくので、詳細を検討し、以下の具体的な質問に回答を求めます。(資料-7参照)

1 アンケートの欠陥については、中部横断自動車道八ヶ岳南麓の会（米田佳孝代表）が、2012年6月1日に国土交通省関東地方小委員会宛てに、第2回アンケート、およびその後の小委員会の審議のやり直しを求める手紙を送った。

にもかかわらず、いまだに委員会、石田委員長から正式の回答がないのはなぜか。

また、アンケート結果を受けて2012年4月に開かれた関東地方小委員会では、アンケートの集計方法の欠陥について、二村委員らから指摘があったにもかかわらず、これを無視して、6月に中間とりまとめをしたのはなぜか。

2 問題の住民アンケートとは①戸別配布②役場や国土交通省の地方事務所など出先機関に置く「留置配布」③ウェブアンケートだった。第一の問題は、北杜市の戸別配布枚数

後団002-6

は21866枚に対し、アンケート対象区域外の佐久市が18730枚、小諸市が43933枚と、着工済みで、高速道路建設に賛成が多い、佐久、小諸でもアンケートを行った。このように、建設賛成で多数派工作したと取られても仕方がない行動をした理由は何か。

第二の問題は、山梨県側の留置先では「各世帯に1枚」に制限する一方、長野側は、こうした制限がなく、反対が多い山梨側の意見を抑制する対応をした理由は何か。

第三は、地域住民がよく行く市役所や支所は、配布枚数が少なく、建設業者などの出入りが多い、国土交通省や山梨県の出先機関には、1カ所で2000枚を配置。

この偏向の理由は何か。その説明を求めます。(資料-7参照)

3 回答の集計方法についても、詐欺的な行為が行われており、このアンケート結果の放棄を要求する。2回目のアンケートでは、そもそも、第1回アンケートの結果を受け、対象者に4案（①全線整備案＝フル規格②一部旧清里有料道路活用案③国道141号改良案④建設なし）について、第2回アンケートで4つの案について、「どれを支持するか」で賛成票の多い順に優先順位をつけるのが正当であるはずなのににもかかわらず、「②は～理由で反対。③を支持」という回答の場合、②③に言及しているという理由で、それぞれに1票が入る、という詐欺的な集計をし、建設賛成の結論を誘導している。Web回答を分析すると90%以上が、③案支持になっていることから、紙のアンケートの結果が地域の民意を表していないのは明らかである。このような詐欺的な集計方法をとった理由は何か。その説明を求めます。(資料-7参照)

また、第2回アンケートの集計結果に使った具体的資料の提出を求めます。

4 以上、アンケートの作成から集計に至るまで、アンケートについての専門家がこの作業に係ったのか、小委員会委員が係ったのか、その理由と説明を求めます。

5 第2回アンケートの第3案が排除された小委員会の議論の過程を示す国交省事務局段階での内部資料を開示するよう求め、その説明を要請する。

国交省予算について

24年度補正予算及び25年度通常予算案が閣議決定されたが、その中で、中部横断道（佐久～八千穂～長坂）に関するもの計上の有無はどのようなになっているか。その具体的な内容（基礎調査、環境アセス、地元コミュニケーション活動、等々）の説明を求めます。

ルート帯 AB 案の交通量需要予測と採算の見直し

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年2月28日)

後団002-7

後団002-8

- 1 交通量の需要予測と採算見通しが明らかになっていないが、数値を出すべきである。需要予測もない段階で、ルートが絞られるというのは順序が逆である。なぜ、ルート案ごとの需要予測と収支計画が、議論の前提にならないのか。その説明を求める。
- 2 中部横断自動車道（長坂-八千穂）新ルートを前提とした交通量調査資料、費用対効果等の事業性についての資料、観光、産業誘致等の具体的資料の開示を求める。
- 3 国交省が掲げている「課題を解決するための目標」の定量化資料の開示を求める。すなわち、生産品の輸送時間の短縮データ、救急医療施設への移動時間短縮データ、現道の走行性、安全性の向上データ、災害時の代替路確保データ、企業誘致、雇用促進データである。
- 4 優良農地保護、地域振興に対する国交省の具体的計画資料の開示を求める。

八ヶ岳南麓地域経済へのダメージ

- 1 原発の誘致同様、高速道路建設の建設も、その賛否や用地買収などによって地域社会が分断されかねない。地域社会が破壊されかねないという懸念に対しどう対応してくれるのか。国交省としての説明を求める。
- 2 八ヶ岳南麓を南北に分断する新ルートだと、森林などの自然環境や、オオタカや生息数で日本一を誇るオオムラサキなどの希少動物の生育環境が破壊され、八ヶ岳の観光地、リゾート地としてのブランド価値が著しく損なわれる。このことから、地域の観光、飲食・サービス、不動産、建設業などの地域経済にとって大打撃となる。環境破壊と経済的損失についてどのように責任を取るのか。国交省としての説明を求める。
- 3 南麓ルートの開通によって、上記の自然環境や生態系だけでなく、観光地としての価値である「景観」もまた破壊され、その結果、リゾート地、観光地としての価値も低下し、地価や不動産価値の下落につながりかねないと考えられる。国交省としての説明を求める。
- 4 南麓ルートだと、物理的な距離の観点から、清里周辺にICを作るということになると、高根地区、大泉地区は、観光客に素通りされ、ホテル・ペンションなどの宿泊業や、飲食サービス業などにとって大打撃となりかねない。どういう対策をとるのか。国交省としての説明を求める。
- 6 夜間の高速道路の照明や自動車ライトで、星空観測地域としても知られる、美しい星

空空間が損なわれ、リゾート地としての価値が下がる。この光害を防ぐ手立てをどのように考えているか。国交省としての説明を求める。

- 7 観光地・リゾート地としての価値が下がれば、住宅や別荘の建設需要も減り、地元の建設業界、不動産業界は大打撃をこうむる。建設、不動産需要をどう確保するのか。国交省としての説明を求める。
- 8 観光地・リゾート地としての価値が下がれば、将来、定住用に別荘を建てた人たちが、定住も別荘ライフも断念、利用されない空き別荘だらけになりかねない。どのように対処するのか、国交省としての説明を求める。
- 9 南麓ルートに高速道路ができれば、八ヶ岳の自然に魅せられて移住してきた人が、他地域へ転出し、高根町、大泉町、長坂町だけで続いてきた人口増もストップする（資料-8）。それどころか、一転して人口減少へ転じ、税収が減り北杜市、山梨県財政も厳しくなる可能性も考えられる。税収減や転出を防ぐ手立てを国交省はどのように考えているか。説明を求める。（資料-8参照）

環境へのダメージ

- 1 八ヶ岳南麓では、井戸水を使っている住民・別荘所有者は多数存在している。高速道路によって地下水脈を毀損されれば、生活に重大な支障がでる。上水道の確保はどうするのか。国交省としての説明を求める。また、八ヶ岳南麓の山梨県側の水系、地下水脈の調査資料の開示を求める。
- 2 交通量が増えることで、排気ガスによる大気汚染や、騒音問題が深刻化し、自然環境だけでなく、定住住民や別荘住民の生活環境、住環境にも悪影響を与える。住環境のよい南麓に移住してきた化学物質過敏症の方がおられるが、排ガスが増えれば最悪命に関わる。国交省としての説明を求める。
- 3 八ヶ岳は日本有数の湧水の地域だが、高速道路建設をすれば、水源や地下水脈、さらには温泉の源泉を断つなど、計り知れないダメージを与えかねない。北杜市では、3カ所の湧水が名水100選に選ばれ、ミネラルウォーターの生産量は日本一。高速道路建設は、これらすべてに計り知れないダメージを与える。湧水、地下水の保全をどうするのか。国交省としての説明を求める。

災害時リダンダンシー確保の矛盾

- 1 長坂周辺には、糸魚川-静岡構造線断層帯がかかり、京都大学は「30年以内に地震

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年2月28日)

後団002-9

が発生する確率が25%」としているが、この断層を含め、八ヶ岳南麓から清里エリアまでの、断層、地震のリスクをどう評価しているのかまた、AB案が跨ぐ川俣川付近の活断層の存在の有無を調査したことがあるのか。国交省としての説明を求める。

- 2 八ヶ岳南麓のルートには、土石流危険区域があるほか、湧水地域とぶつかる可能性が極めて高く、そのような地盤の弱い所にルートをとると、橋梁の耐震性の観点からも非常に危険である。土石流への対応や耐震性能をどう担保(補償)するのか。国交省としての説明を求める。

国土交通省の「日本風景街道」に登録認定されている「八ヶ岳南麓エリア」のモデルルートであるレインボーラインと八ヶ岳高原道路と旧清里高原道路で囲む「八ヶ岳南麓風景街道」は、高速道路を南麓ルートにとると、相互に干渉するが、この矛盾をどう説明するか。国交省としての説明を求める。

意見交換会の開催要求

2013年3月31日までに、新ルートに関する政策決定権限を有すると思われる小委員会、第三者委員会、もしくはワーキンググループとの地元における意見交換会の開催を要望する。また、地域で活躍する自然保護団体、自然環境や景観保全を訴えているグループとの積極的な意見交換会を同時期に開催するよう要望する。

さらに、八ヶ岳南麓の道路計画による影響を受ける沿線住民との意見交換会を2013年4月までに開催するよう要望する。また、市内別荘所有者の多い夏季において、今後も意見交換会を数多く開催するよう要望する。また、国交省による説明会等の開催情報を周知徹底するために、ホームページ等依存せず、その方法を改善するよう要望する。

今後の小委員会の開催予定の通知連絡と公開要請

本年3月以降に開催される小委員会の開催予定をできる限り、速やかに通知連絡するよう要望し、また、公平性の観点から広く公開するよう求める。

後団002-10

住民参加の新計画案作りへの提案:

平成16年度 国交省国土技術研究会主催による自由課題(アカンタビリティ部門)に「能越自動車道(田鶴浜~七尾)みちづくり懇談会の取り組み」として、国交省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 調査第二課 田中 芳太郎氏の論文の発表がなされており、

- ★高規格幹線道路事業の構想段階よりの住民参加による社会資本整備をめざし、
- ★最終的に、地域高規格道路に対し既存国道の活用を提案するに至った、とある。

私達は、上記に関連し、1月31日の大泉町の住民説明会場にて

「国交省と地元住民参加によるアンケート案の作成~実施・集計」の提案を行っているが、最終的に新ルート沿線住民の会としての以下の提案をする。

- ★山梨県北杜市全住民の参加による基本計画から事業計画策定までの、P I (public involvement) による社会資本整備を目指す取り組みとする。

参考意見添付

資料9 中部横断自動車道八ヶ岳南麓ルート案(清里-長坂間)に対する意見書

資料10 中部横断自動車道(長坂~八千穂)建設反対の意見

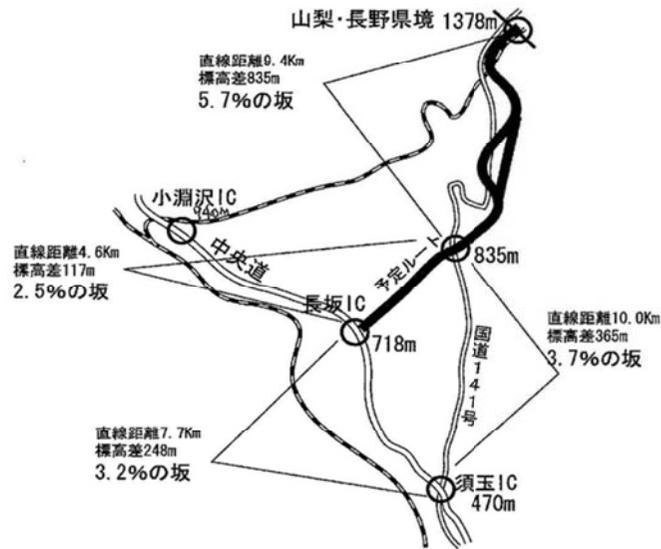
「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年2月28日)

後団002-11

道路勾配に関する資料 2013/3/1 申入書添付資料4

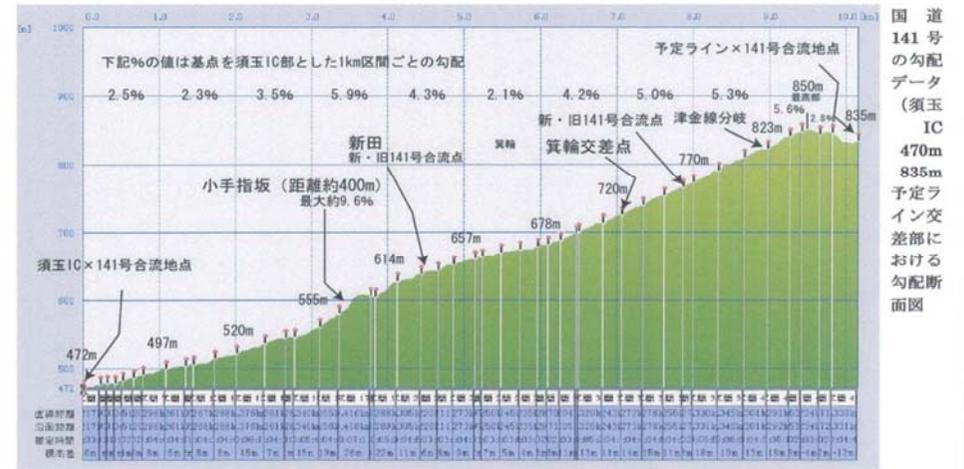
地元説明会における「なぜ長坂なのか」の問いに、国交省の説明では、「須玉と比較すると、長坂は勾配が少ない」、「高度差を稼ぐ」という観点で、野辺山-長坂と野辺山-須玉の勾配を比較している。そもそも、計画段階で835m地点まで、5.7%の勾配をクリアしているのだから、それ以下の勾配は問題ないはずである。従って、835m地点から須玉までの勾配には問題がない。



参考： 旧清里有料道路清里大橋の坂は、およそ9.6%勾配である。
(作成 中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会)

後団002-12

2013/3/1 申入書添付資料5



(数値はおよその値です) 中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会 作成

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年3月14日)

後団003-1

住民との対話なき「早期建設」の説明会 皆さんに訴えます !!

北杜市は本日2月27日の中部横断自動車道長坂～八千穂間の八ヶ岳南麓新ルート案の「早期建設」の説明会を、一般住民を締め出し行おうとしました。しかし、多くの住民の強い抗議でようやく説明会への参加・傍聴を認めました。

道路建設には多くの家や田畑や景観が犠牲になります。ですから、地域によっては道路建設に住民が参加して構想段階から検討がされるようになっていきます。しかし今回の中部横断道(八千穂～長坂間)の新ルート提案はこれまでのアンケートにも全く提案されていないルートが突然な形で出されました。当然にも多くの人が全くの「寝耳に水」のことであり、不安に陥り、憤り、納得できませんでした。

私たちは中部横断道に反対しているわけではありません。新ルート案を撤回し八千穂・長坂間の山梨県側に関して「どのような道路にするのかルートはどうかを住民がともに考えてより望ましい答えを出すプロセスを作りたい」と願っているのです。国交省が突然に提案した新ルート提案を容認して早急に進めるという北杜市の考えとはその点で真っ向から異なっています。

北杜市は「災害時の代替路の必要性」を主張しています。長野県側のように国道141が1本しかない状態なら代替路が必要です。しかし八ヶ岳南麓は八ヶ岳横断道、国道141号、県道28号線、広域農道をメインに網の目のように道が作られています。

国の説明会では今回提示された新ルート案には多くの問題があることが明確になりました。そのことを冷静になって考える必要があると私たちは主張しています。

八ヶ岳南麓新ルート案地域は国交省による「日本風景街道」の一つ、「八ヶ岳南麓風景街道」として登録されている地域です。ほんの一時期の人間の満足を得るために、私たちの宝、八ヶ岳南麓の自然を破壊して良いのでしょうか。

北杜市は、北杜市民憲章に基づき「環境日本一の潤いの杜づくり」を目指しています。この言葉にたがわず住民とともにある市政を進めてほしいと願っています。

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会
[黒塗り]

後団003-2

八ヶ岳の景観を壊す高速道路はいらない!

八ヶ岳南麓のすばらしい景観、豊かな森と古くからの集落の中を切り裂いて中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画が進んでいます。

国は借金 1,000 兆円を抱え、大震災、原発事故からの復興もままならない中、長坂～八千穂間で 2,000 億近くの税金を使って建設しようとしています。

また、笹子トンネルの天井崩落事故は、老朽化した道路、橋梁、トンネル等の維持管理が安心安全のため何より優先して取り組まなければならないことを示しました。その経費は今後 50 年間で 190 兆円とされています。

このような中で、需要予測や、費用対効果も明らかにしないで、突然のルート変更や国道改修の住民要望の無視など不誠実な対応のままに 3 月にも計画を決めようとしています。

私たちは、八ヶ岳南麓の美しい風景やおいしい水、澄んだ空気を守り、さまざまな鳥や動植物、ホタルが飛び交う自然を守りたいと思っています。

どうか皆さん、一人でも多くの方が、この高速道路建設反対の声を国に届けるため署名活動等にご協力下さいますようお願いいたします。

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会



ホームページ: <https://sites.google.com/site/odandonewroot/>



ネット署名: <https://www.change.org/ja/キャンペーン/八ヶ岳の景観を壊す高速道路はいらない>



■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年3月14日)

後団003-7



<説明会を聞いて>

大きな問題点—新ルートの決め方

大泉の説明会での2日間の参加者は458名、意見者は約50名でした。賛成意見は1名(明野在住者)、あとは反対意見でした。

説明会での国交省の言い分は「コミュニケーション活動をし、2回のアンケート活動をし、その結果、旧有料道路を使うルート案は斜度や環境問題があるので撤回をし、新ルートを提案します。」というものです。この新ルートはアンケートの設問にもないものです。これでは多くの人が混乱をしてしまいます。何回説明を聞いてもコミュニケーション活動と新ルートがどうしても結びつきません。ここに多くの人々が納得のいかない点があるのです。特に新ルート上に位置している人はまさに「寝耳に水」、国交省がコミュニケーション活動を重視しているのはこういう人が出ないようにしているのではないのでしょうか？この決め方が一番の問題点です。旧有料道路を使うルート案を撤回するのなら白紙に戻してあらためてコミュニケーション活動をすべきです。このことをしない限り中部横断道問題は前にすすみません。

アンケートで多くの人々が「国道141の改良案」を選びました。

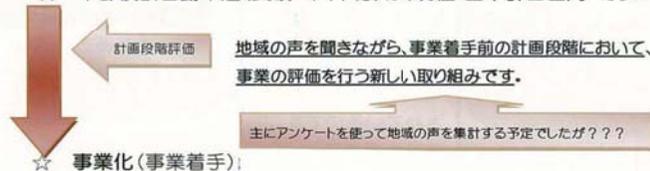
何故でしょう。「国道141の改良案」は利点が多いのです。一つは莫大な費用が掛からない。二つは環境と生活する人にダメージを与えない。そして三つ目は国道141沿線の商店にやさしいということです。逆に言えば新ルート案は莫大な費用(1800億円)をかけて多くの人々の静かな生活を破壊し、国道141をはじめとした一般道路沿線の空洞化をもたらすことになるのです。

住民説明会では、さまざまな「**計画段階評価の不備**」が指摘されました！

では、**計画段階評価**とは一体どんな取り組みなのでしょう？

※アンケートの配付・集計方法について、道路整備の目的となる解決すべき課題の根拠につて etc

☆ 中部横断自動車道(長坂～八千穂)は、現在「**基本計画区間**」です。



上記の様に、公共事業の実施過程の透明性を一層向上させ、事業の必要性の検証をする為の計画段階評価は、国交省の「高速建設ありき」の旧態依然とした手法により、民意は正しく伝えられませんでした。今後、国交省がどのような報告をWG・地方小委員会へ行うのか、しっかりと見ていく必要があります。これからも、私達の民意を伝えていけば、変更・撤回も不可能ではありません！

■「八ヶ岳リゾートアウトレット」からの要望(平成25年5月14日)

後団004

中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する要望

中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画の検討にあたっては、次の事項にご配慮願います。

- 災害時の避難路確保及び
- 地域活性化に向け、早期着工を要望します。
-

以上。

平成25年5月14日

国土交通省関東地方整備局
甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

山梨県知事 横内 正明 様

北杜市長 白倉 政司 様

八ヶ岳リゾートアウトレット
[Redacted]

■「山梨県南アルプス市観光協会」からの要望(平成25年5月15日)

後団005

中部横断自動車道（長坂～八千穂）に関する要望

中部横断自動車道（長坂～八千穂）の計画の検討にあたっては、次の事項にご配慮願います。

◎ 1年でも早く全線開通をお願いします。

私たちの山梨県は、海の無い県ですので、美しい海を見ることがやおいしい魚を食べることに幼いころからあこがれを抱いておりました。

おかげさまで、ここ南アルプス市には2つの中部横断自動車道のインターチェンジがあり、首都圏や中京圏からのアクセスがとてよくなりました。また、静岡方面への中部横断自動車道の工事も順調に進み、数年後には開通するとのことで私たちは大いに期待をしているところです。

しかし、長坂から八千穂を通り新潟県に抜けることのできるアクセスは、未だ凍結したままです。静岡県の太平洋・新潟県の日本海。この2つの海が中部横断自動車道で繋ぐことで国内の物流や港への円滑なアクセスがスムーズになり産業の発展に大いに寄与できるものと思われま。

山梨県民、特にこの県の西側に住む県民はもとより、静岡県・長野県・新潟県にとっても長年の夢であります。

1つの道路で繋がることにより、観光はもとより、いつ起こるともしれない災害時における医療活動においても重大な役割を果たす道路網の1つと位置づけされる中部横断自動車道の1年でも早く全線の開通を切に希望したいと思います。

以上。

平成25年5月15日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

山梨県南アルプス市観光協会



■「山梨県農業会議」からの要望(平成25年5月15日)

後団006

中部横断自動車道（長坂～八千穂） に 関 す る 要 望

中部横断自動車道の整備は、新東名高速道路、中央自動車道及び上信越自動車道への接続により、日本海及び太平洋の臨海地域と長野・山梨両県との連携・交流の促進、沿線の方々が安心して暮らせるネットワークの構築、物流体系の確立及び広域的観光ゾーンの開発・支援等に寄与するものとして期待が高まっています。

よって、中部横断自動車道の早期全線開通と、長坂・八千穂間の計画の検討にあたっては、沿線住民の意向を十分反映させるとともに、とりわけ農地の買収にあたっては、代替え農地の取得等、農業者の意向を十分踏まえた対応を要望します。

平成25年5月15日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡大蔵 様

山 梨 県 農 業 会 議



■「南アルプス市商工会」からの要望書(平成25年5月15日)

後団007

中部横断自動車道（長坂～八千穂）に関する要望書

中部横断自動車道（長坂～八千穂）の計画の検討にあたっては、
次の事項にご配慮願います。

- ① 東海沖地震の発生が懸念されている現在、首都圏における環状ネットワークを形成するため中部横断自動車道は一日も早い全線の開通を必要とする。
- ② 山梨県は観光立県であり、県民の所得が向上していくためにも、観光・農業・商業等が連携していく必要があり、中部横断自動車道の早期全線開通は県民全体の願いである。
- ③ 県民全体の願いである中部横断自動車道も建設計画策定について、一部地域の反対意見に惑わされず県民全体の声を反映していくべきである。
- ④ 建設予定地は自然環境や景観に優れたエリアであり自然環境に配慮した建設ルートが望まれるが、建設することが地域住民すべてが安全安心で豊かな地域づくりに貢献していくことを確認していくべきである。

平成25年5月15日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

南アルプス市商工会



■「山梨県中小企業団体中央会」からの要望(平成25年5月17日)

後団008

中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する要望

中部横断自動車道の全線開通は、海を持たない内陸県の本県にとって、日本海及び太平洋の臨海地域との連携交流が容易になり、本県の物流体系の大幅な改善や広域的観光ゾーンの開発に大きく寄与するものと思われます。

今回、中部横断自動車道(長坂～八千穂)のルートが検討されていますが、地域の日常生活や物流を支える国道141号の代替路となり得る道路であり、安全性の向上や物流の効率化に不可欠であります。さらに、全区間の開通により、現在心配されている首都直下型地震等の大規模災害発生時の代替路としての機能等は、国土全体の安全性の確保の観点からも重要であります。

つきましては、計画の検討にあたって次の事項にご配慮願います。

- 地域や広域の代替路としての機能は、中部横断自動車道の全線開通により効果が発揮されるものであり、整備計画区間への早期の格上げを要望します。
- ルートの決定にあたっては、本県有数の観光地である八ヶ岳南麓観光圏への来訪者や地域の生活道路としての位置づけを重視いただき、国道141号へのアクセスに考慮するよう要望します。
- 現在のルートの検討案には、一部区間に一般道を利用する案も提示されていますが、自動車専用道路から一般道を通過することによる走行安全性の低下と代替路としての機能の低下についても十分な検討を要望します。

以 上

平成25年5月17日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡大蔵様

山梨県中小企業団体中央会



■ 「株式会社キッツ 長坂工場」からの要望（平成25年5月20日）

後団009

中部横断自動車道（長坂～八千穂）に関する要望

中部横断自動車道（長坂～八千穂）の計画の検討にあたっては、次の事項にご配慮願います。

1. 特に永年に亘り、対象区域に居住している住民の意思は尊重されたい。
2. BCP の観点も含め災害時や事故時等に代替幹線となり得る道路を構築する事は、国内経済（流通面）の停滞回避や復旧・復興に大きな役割を果たすと思われる。係る観点から陸の孤島となり得るエリアだけに早期構築を望む。
3. 弊社の社業として、物流網となり得る当該道路の整備は、物流面のコストとスピードの観点から必要性がある。人々の生活を支える製造業として、良い物を早く安く届けられる事は、ゆたかな社会づくりに繋がるものと考えます。

以上。

平成 25 年 5 月 20 日

国土交通省関東地方整備局
甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

株式会社キッツ 長坂工場



■「一般社団法人山梨県バス協会」からの要望(平成25年5月20日)



後団010

中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する要望

中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画の検討にあたっては、次の事項にご配慮願います。

- B案を要望
- 初期の建設計画に基づき、早期建設促進を要望する。
- 清里地域へ接続するインターチェンジの設置
(地域振興や地元・観光客利便性を図る)

以 上。

平成25年5月20日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉 岡 大 蔵 様

一般社団法人山梨県バス協会



■「韮崎市商工会」からの要望(平成25年5月20日)

後団011

中部横断自動車道(長坂～八千代)に対する要望

中部横断自動車道は、静岡県静岡市から山梨県を經由し長野県佐久市を結ぶ高速自動車国道であります。

すでに増穂IC～双葉JCT間、佐久南IC～佐久小諸JCT間は開通し、平成28年度には増穂IC～新清水JCT間が開通する計画で工事が進められています。

韮崎市は古くから甲州街道(国道20号線)と佐久街道(国道141号線)、富士川街道(国道52号線)が交差する交通の要所であり、物流の拠点として栄えてきた歴史があります。

このため、道路が経済に及ぼす影響(経済効果)については身を持って体験してきたところであります。

つきましては、長坂～八千代間につきましても、地域経済に好影響を与えるルート選択を速やかに行い、できるだけ早く全線開通し、静岡、山梨、長野間の経済や文化の交流がさらに推進されるよう建設促進を要望します。

平成25年5月20日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡大蔵様

韮崎市商工会



■「一般社団法人北杜市観光協会」からの要望(平成25年5月21日)

後団012-1

国土交通省関東地方整備局
甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する要望

平成25年5月21日

一般社団法人北杜市観光協会
[Redacted]

後団012-2

中部横断自動車道(長坂～八千穂)の早期整備に関する要望

ハヶ岳南麓地域は、豊かな自然や様々な施設により四季を通じ、子供から大人まで楽しめる県内有数のリゾートエリアです。

中部横断自動車道は、新東名高速道路、中央自動車道、上信越自動車道を結ぶ高速道路であり、この道路が整備されることにより、首都圏や中京圏からのアクセス性が向上することや、ハヶ岳地域と軽井沢などを結ぶ広域的な観光ゾーンの形成による新たな周遊観光エリアが創出されることなどの効果により、観光の発展に寄与するとともに、物流における輸送時間が短縮されることなど、周辺地域の産業、経済などの活性化にも寄与するものと期待しております。

さらに、東海地震などの大災害の発生時には、緊急輸送路として、地域住民の救助・救援に必要な不可欠な道路でもあります。

つきましては、中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画検討あたりまして、次の項目にご配慮を賜りますよう、よろしく申し上げます。

- 基本計画区間を整備計画区間へ格上げし、早期の整備を図ること
- 環境保全・景観保護に十分に配慮した道路整備を実現すること
- ワーキンググループで検討しているルートについては、清里へのアクセスに優れる“B案”とすること

一般社団法人北杜市観光協会
[Redacted]



「公益社団法人キープ協会」からの要望(平成25年5月21日)

後団013

中部横断自動車道(長坂～八千穂)建設計画に関する要望

中部横断自動車道(長坂～八千穂)の建設計画の検討にあたっては、次の事項にご配慮のうえ、建設推進を要望いたします。

「道路の建設および運用」と「後世に残すべき豊かな自然」の両立。

- ・環境と景観に配慮した道路開発ルート・工法であること
- ・生物多様性を保全し、一体化した自然を守るものであること

「観光」および「滞在先進地」の模範となるような道路を作る。

- ・広域観光地同志をつなぐアクセス性
- ・災害時の緊急通行路・物資搬送路の役割
- ・地域の生活・救急医療施設へのアクセス性

平成25年5月21日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

公益財団法人キープ協会



「山梨県女性団体協議会」からの要望(平成25年5月22日)

後団014

中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する要望

中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画の検討にあたっては、次の事項にご配慮願います。

- 早期に整備していただいたい。
- インターチェンジを多く設置していただいたい。
- 環境景観に配慮して建設していただいたい。

以上。

平成25年5月22日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

山梨県女性団体協議会



「社団法人山梨県建設業協会」からの要望(平成25年5月23日)

後団015-2

中部横断自動車道(長坂～八千穂)整備に関する要望

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点に、山梨県甲斐市を経由し長野県小諸市に至る延長百三十二キロメートルの高速自動車国道であります。

中部横断自動車道が整備されることにより、日本海及び太平洋の臨海地域と長野・山梨県との連携・交流が促進され、本県にとって、その整備効果は計り知れず、早い実現に大きな期待が寄せられ、現在、中部横断自動車道の増穂以南については、平成二十九年年度までの全線供用を目指し建設工事の促進が鋭意図られており、大変感謝をいたしております。

しかし、長坂・八千穂間については、計画段階評価で、地元意見を聴取しつつ、ルートを選定作業を行っているところであります。

このような中、一昨年の東日本大震災では、高速道路がいち早く復旧し、災害活動の復旧・復興活動に大きな役割を果たしており、改めてその必要性が認識されたところであります。

本県においても、今後発生することが予測される、東海・東南海・南海の三連動地震、および首都圏直下型地震等から、本県や静岡県、長野県、さらには北関東・東北地方を結ぶ環状ネットワークを形成し、大規模災害時における代替道路を確保するためにも、長坂・八千穂間は「命の道」として高速道路の整備が必要不可欠であります。

また、第三次緊急医療施設への短時間での搬送による救命や観光振興など地域・経済の活性化、さらに周辺一般道路の安全性向上等のためにも、必要な不可欠な重要道路であります。

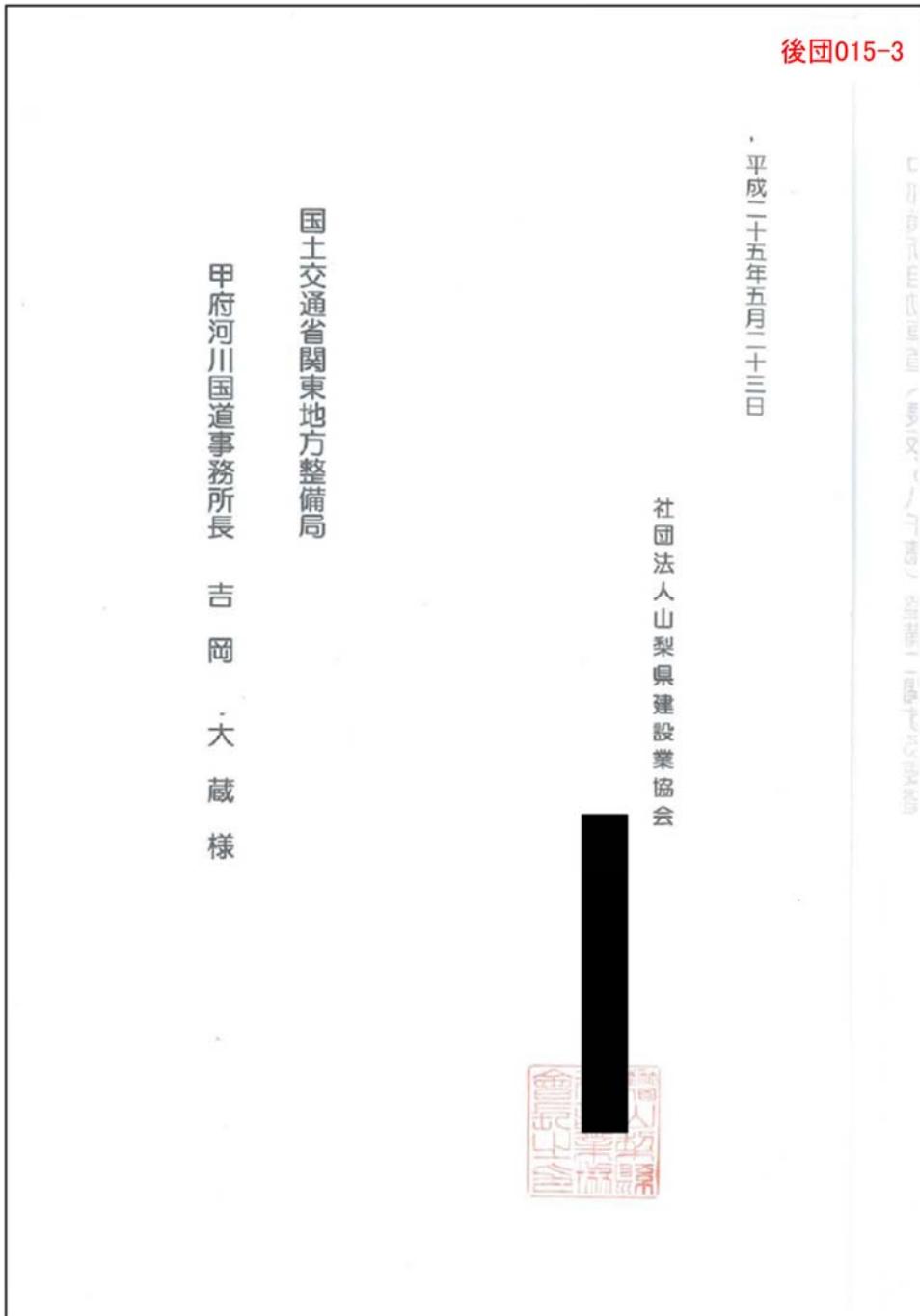
このため、地元自治体等に対し土地利用、自然環境や景観、観光地へのアクセス性等に配慮しつつ、早期に最適ルートの決定を行い、早期に整備計画決定更には施工命令の決定をお願い致すところであります。

後団015-1

要 望 書

社団法人 山梨県建設業協会

■ 「社団法人山梨県建設業協会」からの要望(平成25年5月23日)



■「北杜市商工会」からの要望(平成25年5月23日)

後団016

中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する要望書

中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画の検討にあたっては、次の事項にご配慮願います。

- 長坂～八千穂間の基本計画区間を早期に整備区間に格上げし、中部横断道全線開通に早期実現を要望します。
- ハケ岳地域にインターチェンジ等を二ヶ所設置し、これらを活用した商業施設等の地域活性化施設の建設を要望します。
- ハケ岳地域は、自然を生かした観光立地であるので、景観に配慮した道路建設を要望します。

平成25年5月23日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡大蔵 様

北杜市商工会



「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年5月28日)

後回017-1

2013年5月28日

国土交通大臣 太田昭宏 殿
社会資本整備審議会道路分科会関東小委員会委員長 石田東生 殿
国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所長 吉岡大蔵 殿

中部横断自動車道(長坂～八千穂)の「計画段階評価」に関する
申入れ書の回答に対する抗議と再回答の要望書

去る4月12日、甲府河川事務所において、小林事業対策官より口頭にて説明された「国土交通省の正式回答」について以下の理由により抗議し、再回答を求める。

- ① 当該申入れ書は、国交省大臣及び社会資本整備審議会関東地方小委員会に対しての「申入れ書」にもかかわらず、国交省内部の討議に留まっており、地元説明会での対応と何ら変わらない内容であった。昨年10月4日の地方小委員会において石田委員長は「山梨県側は今後もことごとくコミュニケーションをとって良いものにして、将来禍根を残さないようにしていきたい」、また「説明会、意見交換会などは一方的ではなく、お互いに話、対話ができる双方向のコミュニケーションが必要だと思っている」との発言もあった。既に行われた「地元説明会」では、沢山の反対意見が出されており、国交省のみで回答できない質問が山積し、未だ解決されておらず、双方向のコミュニケーションとはなっていない。早急に小委員会メンバーを含めて検討・討議し(公開にて開催)、昨年来届けられている各団体の「要望書・申入れ書」を含めた文書による回答を求める。
- ② 小林事業対策官より「小委員会に伝える」との発言が今回も含め、地元説明会の時から再三でているが、具体的な「回答」が無い限り、ガス抜き・アリバイ作りとしか言えない。住民に対する国交省のこれまでの対応は極めて不誠実で、平成23年第1回小委員会(平成23年7月7日)で「丁寧に住民の意見を聞く事が大事」「丁寧に対応すべき」、平成24年第2回小委員会(平成24年10月4日)には「WGの実施にあたっては、丁寧なコミュニケーション活動を行っていく必要がある」との議事概要にある委員の合意事項に反している事は明らかである。この様な古典的な従来型の関東地方整備局の対応については強く是正を求め、試行段階にある「計画段階評価」が新しい道作りの新モデルとなるよう、計画段階から地域住民の民意が計画に反映される「PI(パブリックインボルブメント)による市民参画型道づくり」を政策手法に取り入れるよう、小委員会より分科会長へ具申を行うよう要望する。

後回017-2

(※小委員会運営規則第二条2:整備局の報告に対し意見がある場合に、分科会長に対してその具申を行う事・・・と規定あり)

- ③ 「なぜ長坂なのか、その決定経緯」については、地元説明会のレベルと全く変わらない回答に留まっており、最終の地元説明会(平成25年2月16日)が終了して2ヵ月以上経過したにも関わらず、何をしていたのか疑問である。長坂分岐の根拠となる「議事録」の公開を求める。
- ④ 「141号改良案」について
 1. 平成23年度第2回小委員会(平成23年10月5日)の審議において、「第1回アンケートで頂いたご意見の中にも、141号の改良を先ずやるべきではないか等、色々現道改良に関してのご意見を頂いて、現道をしっかり改良して行く案の一つ立てさせて頂いた」として、「住民の意見を丁寧に聞くべき」とした小委員会の意見を真摯にとらえ、関東地方整備局が自ら出したのが、「代替案=141号改良案」である。にもかかわらず、平成24年に発表した「中間とりまとめ」では「高速道路整備が有効」と結論づけた。第2回アンケートの①案～③案中「概ねの費用」では③案の「約1,300～1,400億円」が最も安く「整備コストが掛かる」とした小林事業対策官の回答は整合性に欠ける。
 2. 新ルートとの差額は最も安く200億円であるが、多額の債務を抱える日本国において、「経費削減」は必要不可欠かつ急務であり、住民の希望が多く最も低コストで対応できる「141号改良案」をより深く検討する事が国土交通省及び地方小委員会に課せられた職務である。時世を考えた丁寧な審議を要求する。
- ⑤ 「アンケートの問題点」について
 1. 平成23年度第1回小委員会(平成23年7月7日)議事概要にもあるように、第1回アンケートでは、地域による回答率の格差や、北杜市の自治体と住民アンケートの意見に差がある事、他の事例として400回もオープンハウスを行った事例を上げ「丁寧な対応をすべき」として、平成23年10月5日に臨時の小委員会を行い、丁寧な対応を行った。しかしながら、第2回アンケート後の平成24年第1回小委員会(平成24年4月12日)では、アンケートの集計方法の欠陥について二村委員や他の委員からも指摘があったにもかかわらず、「事務局と相談して、メール等で意見を伺う」として臨時の小委員会を開く事もなく、最終的に「中間とりまとめ」を発表した。この間の審議についての詳しい議事録は公開されておらず、到底納得のいく説明はなされていない。メールを含めた詳細の議事録の公開を要求する。
 2. 第2回アンケートの設定1.課題を解決するための目標について(重要と思うものを3つ選択)では、北杜市では⑤現道の走行性・安全性の向上 ⑥環境・景観の保全 を選択した人が突出して多かった。これは、北杜市民の

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年5月28日)

後団017-3

「周辺地域の課題」が国道141号の走行性の改善と安全性の確保や環境・景観を保全する事であり、「高速道路整備」では課題を解決できない事を示している。

「災害時の代替え路確保」「生産品の輸送時間短縮」「救急医療施設への移動時間短縮」などの課題に対する効果を総合的に判断して「高速道路が有効」と強引に結論づけた小委員会の「中間とりまとめ」には整合性がない。

「個々の意見を小委員会に反映させる事を目的としたアンケート」に北杜市民の民意は反映されておらず、多額の費用と時間をかけて行ったアンケートの意義が無く、「アンケートの配付・集計方法の問題」以上の根本的な問題である。小委員会の見解を明らかにする事を求める。

⑥ 国土交通省・社会資本整備審議会道路分科会建議中間とりまとめ〔平成24年6月12日〕によると、今後の厳しい財政状況の問題・既存の道路の本格的な老朽化に伴う維持管理費増大の問題・一定の道路整備が形成された今日では、国民のニーズは「今ここにある道路」の改善に移行しつつある・・・等々、国交省自身が「高速道路未整備区間の一般道の活用」を提案している。国土交通省の出先機関である関東地方整備局、及び地方小委員会委員（WG座長・久保田尚氏は道路分科会メンバー）の低い現状認識に関して強く抗議するとともに、改善を求める。

⑦ 現在、北杜市内では「八ヶ岳を横断する高速道路に反対する住民」に対する嫌がらせが起きている。高速道路反対看板への悪戯、高速道路反対ステッカーの模倣偽造（NO→YESに書き換える）等。この様に「高速道路建設問題」が「地域を分断する問題」へと変貌し、新たな「地域の課題」を作り上げてしまった事を国土交通省・地方小委員会も認識し、自らが負っている重責を「透明・公正で科学的裏づけのあるデータをもとに」（第1回地方小委員会（平成22年12月2日）の石田委員長冒頭の挨拶より引用）真摯に全うされるよう要望する。

この事態を民主的に解決するために、国交省が基本理念としている「双方向のコミュニケーション」を行う場として、石田東生委員長、久保田座長との面談を強く求める。

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会

「八ヶ岳青年会議所シニアクラブ」からの要望(平成25年5月30日)

要望書

後団018

中部横断自動車道「長坂～八千穂」間の早期整備に向けて

八ヶ岳南麓地域は、自然豊かで四季を通じて楽しめる全国でも有数の観光地であり、地域住民や子供たちにとっても自然環境の中で心豊かな生活を送っている所でもあります。

しかしながらこの地域は過疎化、少子化が顕著で地域の経済活動が停滞しています。我々「八ヶ岳青年会議所シニアクラブ」会員はほとんど商工業者であり地域経済の一翼を担って日々、地域発展の為励んでいるところではありますが、経済の低迷に翻弄されている昨今であります、このような時代を乗り越えるため、地域の産業、経済活動の活性化の礎として、災害発生時の緊急輸送の「命の道」としてもこの中部横断自動車道は不可欠であり早期整備を要望いたします。

要望項目

- (1) 景観 環境 騒音等に十分配慮した道路整備が望ましい
- (2) ルートは地域へのアクセスに優れた「B案」が望ましい
- (3) 地域の産業、観光、経済活動に寄与する道路整備が望ましい

上記三項目を要望いたします。

平成 25 年 5 月 30 日

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡 大蔵 様

山梨県知事 横内 正明 様

北杜市長 白倉 政司 様

八ヶ岳青年会議所シニアクラブ



■「中部横断自動車道経済懇談会」からの要望(平成25年5月31日)

後団019

中部横断自動車道(長坂～八千穂間)の 早期実現の要望

中部横断自動車道は、日本列島の中央部で太平洋と日本海を結ぶ高速道路であり、全線開通により山梨県が静岡県や長野県と結ばれるだけでなく、東名・新東名・中央・上信越の各高速道路が接続されるため、工業製品や農産物の運搬や、広域的な観光客の増加などに良い影響をもたらす、沿線市町村、更には山梨県全体の産業・経済・観光・文化等の大きな活力になるものと大きく期待を寄せ、早期の実現を願ってやみません。

ここで、中部横断自動車道の新東名高速道路～増穂間については、平成29年度の開通を目指していると認識しておりますが、長坂～八千穂間については、依然として基本計画区間であり、工事着手が見えておりません。

つきましては、長坂～八千穂間について、次の事項に特段のご配慮を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

要望事項

1. 基本計画区間を整備計画区間へ格上げし、早期に整備すること
2. 計画にあたっては、地域経済活性化のためアクセス性の向上に配慮すること
3. ハヶ岳南麓地域のすばらしい景観や美しい自然に配慮すること

平成25年5月31日

中部横断自動車道経済懇談会



「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年6月21日)

後団020-1

清里のアンケート結果

このアンケートは県の高速道路推進室より清里地区の住民の意見を聞くために行われたアンケートです。

アンケートの配布は新聞折り込みで清里地区に配られ、結果の発表も新聞折り込みで清里地区のみ配布されました。

結果は見ての通りの、道路建設に反対の意見が大多数です。

回答152件に対して反対134件清里の人は高速道路はいらないと回答しています。

過去に国土交通省もアンケート2回も行った結果も、北杜市の人は87%が高速道路はいらないと回答しています。

この道は誰のために造るのですか？

後団020-2

中部横断自動車道アンケート

中部横断自動車道「長坂～八千穂」間の国土交通省による地元説明会がこの冬行われ、振興会でも現段階での理解を深めるための説明会を実施しました。第三者委員会の審議を経て次の段階へ移行するにあたり、この度、県の高速道路推進室から具体的なルート設定の参考とするため、地元住民の意見を聞きたいとの要望がありました。皆様もご存知のとおり、ここ清里を通過する際のルート案がA案B案（図を参照）の二通りあり、私たちの生活にも直接的な影響を及ぼす重要な選択を迫られることとなります。自然環境の保護、地域生活の向上、観光地としての発展・・・など、様々な観点からご意見もあるかと思えます。振興会では、現在のところ振興会としてのまとまった要望や意見を提出することを避け、現在の振興会員の生の声をそのまま伝えることで、大きな選択に迫られた地元の困惑を共にそのまま伝えようと考えます。「自分は知らなかった」「そんなはずではなかった・・・」とならないためにも、この地に暮らす私たちが当事者意識を持つことが大切であると思えます。

下のアンケートにはまずご自身の選択に○をしていただき、その理由を以下にお書きください。アンケートは無記名で結構です。恐れないご意見をお送りください。



いずれかを○で囲んで下さい

・ A案に賛成 ・ B案に賛成 ・ どちらとも言えない ・ 建設に反対

その理由

ご意見

上のアンケートに記入されましたら、5月31日までFAX(48-2179)にて駅前総合観光案内所あおぞらまでお送り下さい。直接お持ちいただいても結構です。

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年6月21日)

中部横断自動車道 アンケート結果

後団020-3

先月の町民会ニュースで実施しました中部横断自動車道新ルートに多くのご意見が寄せられました。アンケートは182で以下のような結果となりました。この結果を踏まえ、さらなる秋意に沿ひに熟して住民の十分な対話の必要性を認識していただけるものと想います。この内容がそのまま、協議資料等に反映されることとなります。

	回答数	主な理由、意見
A案に賛成	4	・直接清里に過ぎことは景観を損ねる。須玉ICに繋いでほしい。 ・待ち望んでた道路だから。作ってくれる時に建設してもらわないと後悔する。 ・清里に高速道路は反対。既存店がダメになってしまう。
B案に賛成	7	・アクセスが良い。・清里にインターを作って欲しい。 ・生活圏の拡大による地域の活性化や救急医療の充実に寄与する。 ・141号とのつながりが良い。・野辺山までつながるなら仕方ない。 ・早期着工してほしい。・新直轄方式で作って欲しい。
どちらとも言えない	7	・メリット、デメリットそれぞれあると思う。騒音、環境に配慮してほしい。 ・A案もB案も八ヶ岳の価値を損ねる。他のルートを計画してほしい。
建設に反対	134	・絶対反対。・地域を分断する高速道路は反対。 ・税金の無駄使い。・将来に借金を残さないでほしい。 ・少子高齢化が進むうえに維持費がかかる。 ・30年前の計画、今はナンセンス。 ・観光客が過剰してしまう。・イメージを損ねる。 ・住民の話を聞いてないから。 ・地域の商店が築きあげてきたものが壊通られることで無駄になってしまう。 ・八ヶ岳南麓の景観を守りたい。・自然を大切にしたい。環境が悪くなる。 ・自然が破壊される。・日本風景街道に入っている景観を壊すな。 ・道路はこれ以上必要ない。・141号の改修で良い。既存の道路で十分。 ・建設予定地に家がある。・私の近くにできるから。 ・ルートが悪い。・双葉JCTにつながってほしい。 ・両案とも長坂JCTだから。 ・野辺山まで来れば十分。

標高日本一のさくらんぼ祭りをお楽しみ下さい！

・・・岩原果樹園

<http://www.sakuranbobogiri.jp/>



標高の高い岩原果樹園では本州で一番遅く、道の尽端まで遅れます。大団に最も近く望んだ空気のなかで、じっくりさくらんぼ狩りを楽しんで下さい。今年のさくらんぼ狩り期間は6月中旬～7月25日頃の予定です。

★入園料★40分貸し放題

小学生以上～2000円(税込) 未就学児以下～1000円(税込)

※さくらんぼ狩りは完全予約制です。ホームページの予約状況をご確認の上、予約フォームよりお申し込み下さい。ご利用日曜日の場合は、必ず予約区(0551-46-2057)にてご連絡下さい。

滑星高原 オープンガーデン巡り 2013



貸別荘 藤むけ



カントリーハウス ランプライト



水テラス



オールドエイジ



カントリーインファーストトレイン

後団020-4

5月16日市役所〇〇氏との会話

沿線住民の会副代表

やどーも、長らくご無沙汰してます、どーも。

市役所〇〇氏

こちらこそ。

沿線住民の会副代表

この前、新聞見て驚いちゃったんだけど、なんか市長がB案がいいなんて事をなんか国土交通省に対して要望したってような...

市役所〇〇氏

要望というか提言ですよ。

沿線住民の会副代表

要望って書いてあったよ、要望したって書いてあったよ、要望書でねっ提言したって言うもんなー。それで、あれはいったい誰と相談して提言しちゃったのかね、ちょっとその辺をお聞きしたいんだわ、市役所〇〇氏さんに。

市役所〇〇氏

はい、基本的にですね、一応うちの市の方の考え方というのは、まー推進と言う... 事ですよ、というなかで...

沿線住民の会副代表

分かってます、分かってます、分かってます。

市役所〇〇氏

はい、今まで国のほうの説明会とかそういう風なものがおんだされてきたなかで間があいてるという状況もございますよね、その情報等についてまーちょっと確認する意味もありの確認もしながらですね、情報もうちの方も入ってないところもありますので、そういう形のなかでこちらの方の考えをお伝えするという形の中での内容となっております。

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年6月21日)

後団020-5

す。そういう意味でこないだの5月1日ですかね、の日にまー市長のほうで国のほうに足を運びまして、一応その状況の確認と早期整備についてのお願いという形になってます。

沿線住民の会副代表

それでなんでB案って出て来ちゃったの？

市役所〇〇氏

基本的に国のほうで示された中のルート案のなかで出されたなかで一応うちの方の考えとしても過去の様々な今までのなんかございますねー、アクセス性とか防災とかそういう形の中で一番示された中で、望ましい姿というかたちのなかでB案なんです。

沿線住民の会副代表

それは望ましいというふうに考えたのは、市の中のどういう人達でその望ましいと思った訳？

市役所〇〇氏

あの一、市全体ですね

沿線住民の会副代表

あちやーちやー、市全体という事になると、そーすると市議会議員にもはかった？

市役所〇〇氏

当然今の段階では、市長の考え方としてのものとして出されています。

沿線住民の会副代表

ほんならはつきり言って、市長一存で出しちゃったんでしょ？

市役所〇〇氏

一存ていうか..

沿線住民の会副代表

市全体でって言うけれども..

後団020-6

市役所〇〇氏

執行部ていうか事務方の整理も含めた市の考えになります

沿線住民の会副代表

要するに市としての考えというのは市役所としての考えだね。

市役所〇〇氏

そうですね、まだ議会には到達する段階のやつははかって無い。

沿線住民の会副代表

そうだね、そうだね、要するに市役所の中での話しとしてB案がいいと、それで間違え無いですね。

市役所〇〇氏

はい。

沿線住民の会副代表

だから市議会にもはかってないし、市民から意見を聞いた訳でもないし、住民投票をやった訳でもないし、アンケートをやった訳でもないんですね。

市役所〇〇氏

当然今までの考えの中の積み重ねの中で、今示された国から示された中の...

沿線住民の会副代表

だから上から言われたA案B案ていうのを市役所の中で考えてこれが適切だと思ってB案というふうに提言しちゃったと。

市役所〇〇氏

望ましいとお伝えしたと。

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

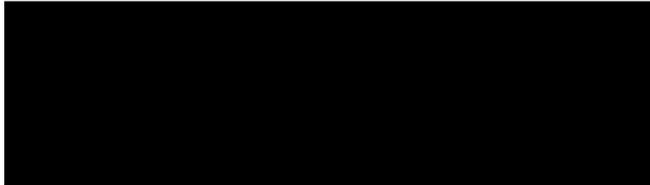
(平成25年6月21日)

後団021-1

ワーキンググループの皆様へ

平成25年6月21日

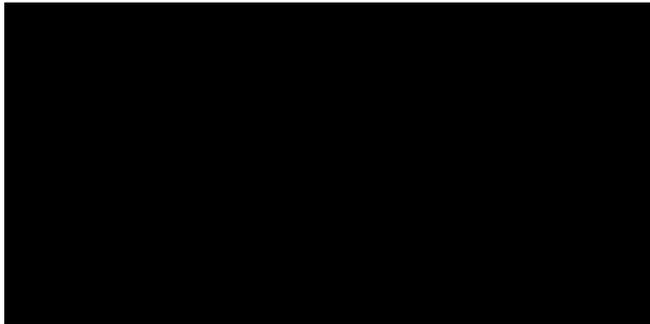
白倉政司北杜市長が独断でB案提言をしたことで、WGが動きだすという噂がささやかれています。今回、私たちがお送りする書類を吟味していただきたく思います。



資料2、山梨県の高速道路推進室からの要望で行われた清里でのアンケート用紙と、アンケート結果集計表

資料3、国土交通省甲府河川事務所 宮坂広志様の書いた文

(この文に書いてある通りにWGに伝わるか、隠されないかが心配なので添付しておきます。隠されたなら情報は隠されていることとなります。)



・このままのルートでは市民、国民は納得するであろうか。利権が有り。このルートのままでは不正をしていると市民国民に判断されま

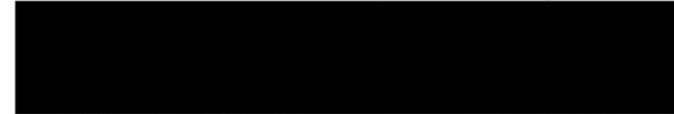
す。

後団021-2

資料2、の問題点

- ・ 県の高速道路推進室が要望して北杜市民全体の意見ではなく、清里地区だけの一部の市民に対してアンケートして回答させたこと。不公平感が強い。
- ・ 今の流れは市、県、国の行政機関が建設に邁進している中、行政関係者以外の市民の答えは建設反対であること。民意は無視されるのか。(国の2回のアンケートも北杜市民は反対が多い)
- ・ WGは行政の味方で民意である建設反対を無視するのか。

など二つの資料が現在のルートの大きな問題点を提示しています。



これを裏付ける様に、長坂にジャンクションが決まった経緯に関する議事録が今も沿線住民の会の要請を無視して出されていません。

6月21日に甲府河川の宮坂課長に提出されない理由を聞いたら、「探しています」と、私が住民説明会から何ヶ月たちますか？紛失したのですか？と聞くと宮坂課長は顔を赤くして探していますと繰り返すだけでした。(録音有)このことから、よほど都合な真実が隠されていると思います。長坂で有る必要は利権だけということでしょうか？

そこで考えていただきたいのです。

この道は誰のために造るのですか、市民？県民？国民？白倉市長さんと建設関係者に金をばらまくためですか？

採算性がまだ計算されてない道(住民説明会で発言有)に建設費約2000億円。方や高速道路無料化先送り道路の維持費の不足。

国の借金1000兆円・・・国の税収何年分ですか？国民の血税は、ばらまきの為に存在しているではありません。

国道141の改良が良いと考えます。国道の有効利用をお願いいたします。

今のルート案は利権優先のそしりを国民から受ける建設構想です。

報道機関にも情報を提供していく考えです。

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会
副代表

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年6月21日)

資料 2、

清里のアンケート結果

このアンケートは県の高速道路推進室より清里地区の住民の意見を聞くために
行われたアンケートです。

アンケートの配布は新聞折り込みで清里地区に配られ、結果の発表も新聞折り
込みで清里地区のみ配布されました。

結果は見ての通りの、**道路建設に反対の意見が大多数**です。

回答152件に対して反対134件清里の人は高速道路はいらないと回答して
います。

過去に国土交通省もアンケート2回も行った結果も、北杜市の人は87%が高
速道路はいらないと回答しています。

この道は誰のために造るのですか？

後団021-3

中部横断自動車道アンケート

後団021-4

中部横断自動車道「長坂～八千穂」間の国土交通省による地元説明会がこの冬行われ、振興会でも現段階での理解を深めるための説明会を実施しました。第三者委員会の審議を経て次の段階へ移行するにあたり、この度、県の高速道路推進室から具体的なルート設定の参考とするため、地元住民の意見を聞きたいとの要望がありました。皆様もご存知のとおり、ここ清里を通過する際のルート案がA案B案（図を参照）の二通りあり、私たちの生活にも直接的な影響を及ぼす重要な選択を迫られることとなります。自然環境の保護、地域生活の向上、観光地としての発展・など、様々な観点からご意見もあるかと思えます。振興会では、現在のところ振興会としてのまとまった要望や意見を提出することを避け、現在の振興会員の生の声をそのまま伝えることで、大きな選択に迫られた地元の困惑を共にそのまま伝えようと考えます。「自分は知らなかった。」「そんなはずではなかった・・・」とならないためにも、この地に暮らす私たちが当事者意識を持つことが大切であると思えます。

下のアンケートにはまずご自身の選択に○をしていただき、その理由を以下にお書きください。アンケートは無記名で結構です。忌憚ないご意見をお送りください。



いずれかを○で囲んで下さい

・ A案に賛成 ・ B案に賛成 ・ どちらとも言えない ・ 建設に反対

その理由

ご意見

上のアンケートに記入されましたら、5月31日までFAX(48-2179)にて駅前総合観光案内所
あおそらまでお送り下さい。直接お持ちいただいても結構です。

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年6月21日)

後団021-5

中部横断自動車道 アンケート結果

先月の振興会ニュースで実施しました中部横断自動車道アンケートに多くの皆様からご回答をいただきました。回答総数は152で以下のような結果となりました。この結果を踏まえて、国は次の段階に進むに際して住民との十分な対話の必要性を理解していただけるものと思います。この内容はそのまま、要望された県の高速道路推進室および県知事、北杜市長に送ることになります。

	回答数	主な理由、意見
A案に賛成	4	<ul style="list-style-type: none"> ・直接清里に通すことは景観を損ねる。須玉ICに繋いでほしい。 ・待ち望んでた道路だから。作ってくれる時に建設してもらわないと後悔する。 ・清里に高速道路は反対。既存店がダメになってしまう。
B案に賛成	7	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスが良い。・清里にインターを作って欲しい。 ・生活圏の拡大による地域の活性化や救急医療の充実に寄与する。 ・141号とのつながりが良い。・野辺山までつながるなら仕方がない。 ・早期着工してほしい。・新直轄方式で作って欲しい。
どちらとも言えない	7	<ul style="list-style-type: none"> ・メリット、デメリットそれぞれあると思う。騒音、環境に配慮してほしい。 ・A案もB案も八ヶ岳の価値を損ねる。他のルートを計画してほしい。
建設に反対	134	<ul style="list-style-type: none"> ・絶対反対。・地域を分断する高速道路は反対。 ・税金の無駄使い。・将来に借金を残さないでほしい。 ・少子高齢化が進むうえに維持費がかかる。 ・30年前の計画、今はナンセンス。 ・観光客が通過してしまう。・イメージを損ねる。 ・住民の話を聞いてないから。 ・地域の商店が繁きあげてきたものが素通りされることで無駄になってしまう。 ・八ヶ岳南麓の景観を守りたい。・自然を大切にしたい。環境が悪くなる。 ・自然が破壊される。・日本風景街道に入っている景観を壊すな。 ・道路はこれ以上必要ない。・141号の改修で良い。既存の道路で十分。 ・建設予定地に家がある。・私の近くにできるから。 ・ルートが悪い。・双葉JCTにつながってほしい。 ・両案とも長坂JCTだから。 ・野辺山まで来れば十分。

標高日本一のさくらんぼ狩りをお楽しみ下さい！

・・・岩原果樹園
http://www.sakuranbogatari.jp/



標高の高い岩原果樹園では本州で一番遅く、海の日頃まで楽しめます。太陽に最も近く澄んだ空気の中で、ゆっくりさくらんぼ狩りを楽しんで下さい。今年のさくらんぼ狩り期間は6月中旬～7月25日頃の予定です。

★入園料★40分食べ放題

小学生以上～:2000円(税込) / 未就学児以下～:1000円(税込)

※さくらんぼ狩りは完全予約制です。ホームページの予約状況をご確認の上、予約フォームよりお申し込み下さい。ご利用日直近の際は、必ずお電話(0551-46-2067)にてご連絡下さい。



真別荘 野わげ
TEL.0551-48-3308



カントリーハウス ランプライト
TEL.0551-48-3071



清里高原
オープンガーデン巡り
2013



ホテル オールドエイジ
TEL.0551-48-2341



カントリーインファーストトレイン
TEL.0551-48-2598

後団021-6

資料3、

平成25年6月21日

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会



の登記記録の写し及び土地の公図の

写しをお預りしました

2. 5月16日 市役所00室との会話
白倉政司市長のB案提言の真相
住民不在のB案提言

甲府河川国道事務所

宮坂 宏志

上記資料は、WGに報告いたします。

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年6月25日)

後団022-1

ワーキンググループの皆様への要望

今回集計が遅れたのは、住民説明会で市民に答えた国土交通省を信じ、国土交通省が自ら意見を取りまとめ、市民に賛成、反対など、どの様な意見が多く存在したかなど分析・発表し、ワーキンググループに報告するのを期待したからにほかなりません。

しかしながら、いまだに住民説明会での意見の集約はされていません。さらに会では2月16日に出された市民の意見、なぜ接続点が長坂なのかについての議事録の提出を求めてきましたが、探しているという返事で、今日まで提出されませんでした。この議事録が提出されない背景には、封印されている、不都合な真実が隠されている疑いがあります。

それにしても民間の会社組織で言えば、4ヶ月も一つの議事録を探しているということは考えられないことです。書類を探しているという言葉だけで4ヶ月間過ごせるサラリーマンは存在しません。この事は、国土交通省が民間感覚の無い、市民感情を無視した団体にほかならないことの一端を示していると言えます。国土交通省が住民説明会のまとめをしないのなら、沿線住民の会として独自に集計するのやむなしと思ひ、ここに10会場の結果を発表します。

(ここまではホームページ掲載文)

この集計で注目していただきたいのは北杜市民の民意です。先日送りました県の高速道路推進室のアンケートの結果も建設反対の意見が大多数です。この結果は民意が建設反対を示しています。

この北杜市では使わない土地を負の遺産と言うそうです。土地持ちの方がこの道路が出来て土地が売れば賛成派になるのは、人間の欲を考えれば自然な成り行きです。

後団022-2

ここで私たちの疑問が再び湧くのです。なぜ長坂なのか？

前文で書いた長坂に告示された経緯の議事録、ここに封印された真実があるのではと疑ってしまいます。

ともかくこのルート案は、民意でないし、国、県、市が民意を無視して、このままの案で進もうとすれば、国民の民意をふみにじることにもなり、ワーキングの方もこの案を押し進めれば国民からそしりを受けますと思います。

今回のルートAB案の問題点

・国交省のいい加減なアンケートで導き出されている。

・住民説明会での意見の集約からも民意が反映されていない。

・国のアンケートも県のアンケートも北杜市民の民意は建設反対だ。

・バブル時代とは違い国にお金が無く、借金も1000兆円である。

以上の事からAB案ルートの白紙撤回を強く求めます。

平成25年6月25日

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年6月25日)

後団022-3

平成25年1月30日(水)
国土交通省住民説明会 長坂会場 (参加者153名)

会場意見の集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対の意見 総数-33件	<ul style="list-style-type: none"> WGはなぜ直接話を聞かないのか、WGと一緒に対話すべきである。 2回のアンケートは歪曲されており、意見の集約が必要。 意見の地域別分布を明確に報告すべきである。 別荘の人に連絡が届いてない。 別荘の住民が居ない冬場の開催は無効だ。夏の開催を。 この説明会は成り立つのか。 別荘の人も税金を支払っている。この場に居ない事をどう思う。 アンケートは適切に配布されたのか。 計画段階評価はコミュニケーション活動で変わるのか。 説明会など周知にむらが存在するがその理由はあるのか。 計画段階評価なのに、A案B案しか提示しないのはおかしい。 なぜ長坂なのか。 長坂になった経緯を文書でほしい。 技術的な根拠の文章がほしい。 工事費を提示すべきである。 ルートを須玉〜野辺山かんとしても勾配など道路基準上問題ない。 25年も建設の動きが無かった、必要性和効果はあるのか。 費用対効果は計算されているのか。 高速道路はいらぬ。既存のインフラを見直す時である。 1000兆円の借金を抱えバブル時代の計画をやることはない。 国土交通省の行ったアンケートが不適切である。 アンケートの結果、国道141の改良が民意だ。 交通量は算出したのか、新線は赤字が見込まれるのではないのか。 採算の取れる道路を造るべきである。 採算性を先に考え道路を建設すべきである。 WGは地域の状態を見るため、ここに来て地域を見ていただきたい。 環境の良いこの地域に、新たな道が必要かを考えていただきたい。 もっと早い段階で説明会を開いてほしい。 WGと話をできる場所を作してほしい。 会場の人が反対か賛成か決をとりたい。 高速道路の必要性もWGで議論して決めることができるのか。

後団022-4

	<ul style="list-style-type: none"> WGの委員はどのように決まったのか。 WGは高速の必要性を議論していただけるのか。
建設賛成の意見 総数-1件	<ul style="list-style-type: none"> みんなの意見を聞きに来ているので賛否を問うのは反対だ。
中立の意見 総数-1件	<ul style="list-style-type: none"> 議事の取り方について国側の回答も書いてほしい。

建設反対意見 33件

建設賛成意見 1件

中立意見 1件

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年6月25日)

後団022-5

平成25年1月31日(木)
国土交通省住民説明会 大泉会場 (参加者165人)

会場意見の集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対の意見 15件	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが望んでいるのは141号の改良。 ・財政赤字で新規に作るのは無理。 ・景観が良い北杜市を高速道路で踏みにじらないでほしい。 ・質問WGは何人で構成しているのか、山梨の人がいない。 ・WGに決定権はあるのか、決定権はどこにあるのか。 ・小委員会に通せば国幹会議までもどせるか。 ・小委員会が何の決定権もないなら説明会の意味がない。 ・提案ルートと国道の時間差は5分くらい。別ルートの検討を。 ・社会資本はメンテナンスの時代に入っている。 ・交通量の算出は隠しているように思える。 ・事業の進め方の最初に「道路交通調査」とあるが調べたのか。 ・負の遺産を、残そうとしている。 ・限りある予算は補修に回さなければ。 ・子供に負の遺産を残したくない。
建設賛成の意見 0件	なし
中立的な意見 1件	北杜市の中で賛成、反対と2分するのは嫌だ、みんなが良い知恵を。

建設反対意見 15件
建設賛成意見 なし
中立意見 1件

後団022-6

平成25年2月1日(金)
国土交通省地元説明会 高根会場 (参加者272名)

会場意見の集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対の意見 総数—26件	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の道路を保守・改修すべきである。 ・計画の発表前に部落の会議で決まっている。おかしい。 ・計画は新聞発表で知った。寝耳に水。住民無視もはなはだしい。 ・高速道路より141号の整備が先ではないか。 ・新ルート案は寝耳に水。アンケートに疑義がある。 ・アンケートの調査で何も定型化されていない。しかも歪曲されている。そのような資料を使ったのはどうしてか。 ・アンケートの結果がでっち上げされている。小委員会の委員もおかしいと言っている。 ・141号沿いの商店街が衰退する。交通量は予測しているのか。 ・転入者が転出者を上回っている。高速道路ができれば人口が流出する。 ・山梨から長野に物流がどのくらい増えるのか。 ・救急搬送は山梨から長野に行った実例があるのか。 ・今後のメンテナンスの費用はどのくらいかかるか。 ・道路の維持管理費は建設費の3.3倍。後年度負担が膨大だ。 ・新聞でA案B案を知った。寝耳に水。141号のバイパスはできないか。 ・なぜ141号の拡幅・改良案がなくなったのか。白紙撤回を望む。 ・141号はまったく渋滞がない。高速道路のニーズがない。 ・須玉から清里まで高速ができてでも迂回りで早くない。 ・2地域居住で税金も払っている。通知が来なかったのはどうしてか。 ・長坂。高根、大泉は通過する。北杜市民にメリットはない。 ・パンフレットにデメリットが書かれていないが、まったく無いのか。 ・141号で佐久に行ったが、まったく渋滞無い。交通量が少ないのに高速道路は要らない。 ・141号案が落ちることを想定してアンケートに載せるのはおかしい。 ・案内が来ていない。計画の周知がなされていない。 ・生き物のことを考えたら高速道路はいらない。高速ができればもっと子供が少なくなる。 ・計画段階評価で、整備なしということも選択の一つでは。

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年6月25日)

後団022-7

平成25年2月2日(土)

国土交通省住民説明会 小淵沢会場 (参加者91人)

会場意見の集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対の意見 17件	<ul style="list-style-type: none"> ・27年前と時代が違う。 ・高速道路よりインフラの整備を。 ・費用対効果を示せ(同様意見他2件) ・今後人口減少、車の所有減少となる。(同意見他1件) ・通過点となるストロー現象を懸念。 ・141号改修を。 ・高原野菜の物流は長野側の問題。 ・集落が分断される。 ・美しい景観や美田を失ってよいのか。 ・負の遺産を残さない。 ・中間とりまとめで141号が消えてた理由を聞きたい。 ・説明資料のルート図に別荘地区の表示がない。 ・JCT予定地は優良圃場、この地この勾配も危険 ・活断層の調査はしているもか。
建設賛成の意見 9件	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化になる。早期に建設を。 ・海が見たい・キャッチフレーズに共感している。 ・清里有料道路を活用し高規格の道路を。 ・市内を通る区間を長くして、ICを3~4か所造ってほしい。 ・道路は優先的に整備されるべきである。 ・市議会も採択している、議会が説明を。 ・この道路は東名よりも有益だ。国家的見地で造るべきだ。 ・141号拡張には反対だ。 ・中央道も反対の人はいたが今では人が移住している。小淵沢についでほしい。
中立的な意見 8件	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会の開催時期、開催方法について。 ・概算費用の見方。 ・この道路はNECOが造るのか、国が造るのか。 ・市民参加で道造りを。 ・地域振興には賛否を超えて話し合いを。 ・計画段階評価の考え方について。

後団022-8

	<ul style="list-style-type: none"> ・示されたデータが少なすぎる。 ・北杜市は市の考えの説明を。
--	---

建設反対意見 17件

建設賛成意見 9件

中立的意見 8件

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年6月25日)

後団022-9

平成25年2月3日(日)
国土交通省住民説明会 長坂会場2回目 (参加者218人)
会場意見集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対意見 25件	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートの変更はなぜ実施されたのか。 ・南麓を通さないと発言があったが新ルートも南麓である。 ・国交省は都合のいいデータしか公開しない。 ・北杜市の景観は世界に誇れるものを守るべきだ。(2件) ・社会情勢が大きく変わりお金が無いお金を他に回すべきだ。 ・なぜ長坂なのか須玉にJCTを造る方が良い。(3件) ・高速道路の経済性利便性に疑問。 ・高速道路を造ることは農業をつぶすことになる。 ・3人の委員でルートが決められるのは納得できない。 ・この地域に高速道路は適さない。 ・141号の改修が良い。 ・高速道路を造らなければ地域は分断されない。 ・この道は北杜市憲章違反だ。 ・地域に住んでない人が地域の課題を分かるはずがない。 ・国のアンケートはおかしい。(2件) ・民意が反映していない道の建設は反対だ。 ・新ルートについて住民に対してコンセンサスが取れていない。 ・民間会社では費用対効果を出さずして計画は作成されない。 ・事業費2000億円をどの様に捻出するのか問題だ。 ・赤字の道路はいらない。 ・地震に対する対策は考えられているか。
建設賛成意見 5件	<ul style="list-style-type: none"> ・道路はつながってこそ機能する。 ・3月の市議会で早期実施の請願が出ている。 ・中央道が出来た時恩恵を受けた。今回も恩恵がある。 ・交通網の充実が大切。 ・経済効果は重要だ。
中立的意見 2件	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の人意見を取り入れるべきだ。 ・分かりやすいアンケートをしてほしい。

建設反対意見 25件
建設賛成意見 5件
中立的意見 2件

後団022-10

平成25年2月5日(火)
国土交通省住民説明会 小瀬沢会場2回目 (参加者87人)
会場意見集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対意見 27件	<ul style="list-style-type: none"> ・南牧村の説明会に参加できないのは不公平である。 ・経済の今の状況を考えてほしい。人口もこれから減少する。(2件) ・現道の維持に190兆円かかる、若い人に負債を負わせるのか。(2件) ・資料の観光地間の連携は何を意味するか不明。 ・救急医療も病院を造ればよいこと。 ・この道路の有効性は長野側優先で北杜市にはメリットがない。 ・地元の課題のとらえ方が違うのでは。 ・27年前と視野回経済情勢がことなり、今は右肩下がりである。 ・この道より3、11の復興を優先すべきだ。 ・インフラの総点検に国費を使うべきだ。 ・費用対効果を出さないのは、出すと問題があるからではないのか。 ・赤字の道路になる。 ・維持管理費に建設費の3、3倍かかると言われている。 ・高速で便利になるとは思えない。 ・日本風景街道にも選ばれた地域、綺麗な景色を守るべきである。 ・国道を改良すれば風景街道も守られ、コストも安くて良い。 ・年金システムが危機なので道の整備費用を年金に回してほしい。 ・国道141の改修案をお願いします。(2件) ・国のアンケートで北杜市では141号改修が6割が指示した。 ・情報公開が不十分であり、納得できない。 ・中央道との接続点がおかしい。 ・費用対効果が評価項目に入っていないのはおかしい。 ・B/Cは後からと言うが計画段階評価の費用が無駄になるのでは。 ・この道路を造らないといけなと言う大義名分がない。
建設賛成意見 7件	<ul style="list-style-type: none"> ・中部横断道沿線の自治体で反対はない早期建設を。 ・今回の区間も直轄が良い。 ・中央道エリア人の流れが滞っている、呼び戻すために早期整備すべき。 ・安全、安心の代替路としてICは2~3ほしい。 ・山梨県は地理上なるべく多くの道が必要だ。 ・反対をする人が高速道路を使うのはおかしい。 ・佐久総合病院が良いので高速で長野の病院に行きたい。

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年6月25日)

後団022-11

中立的意見 1件	・生活導線と高速道路の融合が必要。
-------------	-------------------

建設反対意見 27件

建設賛成意見 7件

中立的意見 1件

後団022-12

平成25年2月9日(火)
国土交通省住民説明会 清里会場 (参加者232人)
会場意見集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対意見 21件	<ul style="list-style-type: none"> ・今は時代背景が変わった、国の借金問題がある。 ・3人だけのWGでは不足、現地の把握も不足している。 ・国のルートを押し付けるのは問題あり。 ・清里ICは141号沿線の商店集素通りが問題。 ・住民のWGを作り道造りを考えた方が良い。 ・これまでの資料を開示し、多数の説明会を。(2件) ・若い人は車をもてない。道は必要か。 ・141号改良でゆつくり旅ができる方が良い。 ・高速道路建設を決めたアンケートに問題がある。 ・アンケートでは50%の人が141号の改良を求めている。 ・湧水や地下水の層に建設工事の影響が心配。 ・新ルート案に反対、141号の改良を求める。 ・説明会出で出されている資料が不十分である。(2件) ・ルート図の居住地や水田等が書かれていない影響のないよう検討してほしい。 ・比較表だけでなく詳細なデータを開示すべき。 ・目の前に道路が出来たら土地の価格が下落する。 ・市がJICの情報を発信しないために不利益を被った。 ・これ以上の高速道路は不要である。 ・地元としては生活道路を造るのを優先してほしい。
建設賛成意見 11件	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化の想いから中部横断自動車道を求めてきた。(3件) ・141号の活用は無理だ、地域の活性化につながらない。 ・さくらんぼ直売、景観、観光が売りになる。 ・安全、安心ことでも役立つ。 ・環境、景観に配慮した道路建設が市議会で決定している。 ・中央道のような回路として重要だ。 ・中部横断道路は代替路としても必要。 ・反対している人も家を造ることで環境を壊している。 ・双葉のようにPAを造ってほしい。 ・
中立的意見	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模でよいのでたくさんの人に説明してほしい。(3件)

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年6月25日)

後団022-13

7件	<ul style="list-style-type: none"> ・WGに来ていただきたい。 ・ルートは住民の様々な意見を反映して造られるべきである。 ・土地の買い取り価格はどのくらいか。 ・地域の分断課題がある。
----	---

建設反対意見 21件

建設賛成意見 11件

中立的意見 7件

後団022-14

平成25年2月10日(日)
国土交通省住民説明会 大泉会場2回目 (参加者266人)

会場意見集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対の意見 32件	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、長坂なのか不明だ。 ・国道141沿いに建設が出来るはず。勾配も問題ないと思う。 ・141号改良よりルートが長いのではないか。 ・東京からの物流を考えたらJCは須玉が良いと思う。 ・国が行ったアンケートはアンケートとして用をなしていない。 ・141号の改修でよいのでは。(4件) ・ルート帯に入っている人の意見を優先的に計画に反映するべきだ。 ・賛成者は自分の家を通るよう賛成運動をしてください。 ・産業の側面では整備効果は無いと思う。 ・一般道の一部バイパス化を考えていただきたい。 ・活断層の問題を軽視してないか。 ・小委員会で決まれば道路の計画が無くなるのか。 ・シックハウス症候群の患者として生死に関わる問題だ。 ・代替案を整理し検討するとしているがデータは出ていない。 ・交通量の調査のデータが古すぎて交通量の予測ができていない。 ・構想段階から住民参加でルートを検討すべきだ。 ・アンケートの課題は北社市の課題ではないと思う。長野側の課題だ。(2件) ・この道は北社市に恩恵をもたらす事はない。 ・高速道路を建設しないといけないほど交通量が無いと思う。 ・都合の良いデータは出して悪いデータは隠しているのでは。 ・費用対効果は後で調べて効果なしと分かれば事業は中止か。 ・自然、景観が美しいこの地に高速道路はいらない。 ・説明会はガス抜きである。(2件) ・国が141号や旧有料道路を危険と判断するなら改良するべきだ。 ・141号でも佐久には早く行けるので高速は必要ない。 ・道路を造れば清里が再び繁栄すると考えるのは幻想だ。 ・直轄道路とするのは赤字路線だと言う証明ではないか。 ・自然破壊がこの道の最大の問題だ。
建設賛成の意見 4件	<ul style="list-style-type: none"> ・反対意見が多いが建設賛成もいる。 ・救急医療や代替路確保に必要だ。 ・説明会が少なくて良いと思う。

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年6月25日)

後団022-15

	<ul style="list-style-type: none"> ・反対意見が存在するが早期建設してほしい。 ・
中立的意見 4件	<ul style="list-style-type: none"> ・民意をどのように反映させるかが問題だ。 ・小委員会やWGを説明会に呼んでいただきたい。 ・今後も説明会を継続してほしい。 ・141号等の生活道路を整備してほしい。

建設反対意見 32件

建設賛成意見 4件

中立的意見 4件

後団022-16

平成25年2月13日(水)
国土交通省住民説明会 須玉会場 (参加者124)
会場意見の集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対の意見 21件	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路を造らなくとも、国道の走行性で課題の解決を図っては、 ・現道の維持にお金が掛かるのに、新たに道路を造るのは問題だ。 ・自然や景観が壊されるのは問題である。 ・国道141号の整備が良い。高速はいらない。3 ・有料道路でなく公共交通網を整備してほしい。 ・市の市議会で軽井沢に対抗する発言が今度は連帯主旨が不明だ。 ・7月の意見交換会はフェアな人選とは言えない。 ・浅川、湧水が道の建設で途絶えたらどうするのか。 ・2000億もかけて必要としないものは造るべきではない。 ・小委員会が東京で決めたことを地方に押し付けている。 ・津金地区では高速は過疎促進事業になる。 ・委員会のメンバーを代えてほしい。 ・アンケートがでたらめだ、出た答えは使えないはずだ。 ・当初のルートより2~3kmずれた理由が不明だ。 ・日本風景街道の分断は許せない。 ・野辺山から以南は高速道路にしないことを検討下さい。3 ・東日本大震災やトンネル崩落事故後必要性の審議はされたか。
建設賛成の意見 0件	
中立的な意見 6件	<ul style="list-style-type: none"> ・地元に着着した道路が必要だ。 ・ルートがどの位置を通るか地図が説明不足だ。3 ・地域では歴史と文化が大切だ。 ・道路に賛成だが造る時

建設反対意見 21件

建設賛成意見 なし

中立的意見 6件

「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの意見

(平成25年6月25日)

後団022-17

平成25年2月16日(土)
国土交通省住民説明会 須玉会場2回目 (参加者182人)

会場意見の集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対意見 34件	<ul style="list-style-type: none"> ・非人道的な2回目のアンケートだ。配布も誘導的で誠意がない。 ・住民をアンケート作りから参加させ民意を入れるべき。 ・専門家が関与していないのでアンケートになっていない。 ・国道141改良案が消えた理由はどの様なことか。(5件) ・説明会で市の代表として前に座るのは北杜市長ではないのか。 ・3分では反対意見をまとめて質問できない。 ・古老から田んぼを守ってくれと遺言された。造るべきではない。 ・民意を確認しないから市が割れた。 ・4つの案が2つの案A Bになった詳しい説明がない。 ・アンケートの地域の課題は長野側のもんだいだ。 ・R141号の改良を強く望んでいる。(2件) ・ルート帯に自分の家が有るので反対だ。 ・この高速道路では地域の活性化は無理である。 ・高速道路は災害に強いと言えない過去が物語っている。 ・日本海を見るだけなら長野道からが早いのでは。 ・これ以上道はいらない。 ・長坂になった経緯を記した議事録はみつかったか。(2件) ・反対者の数の把握はしているか。 ・この山岳高速道路は雪に弱いのではないか。 ・過疎の地方にあって人口の増加している町が有るが道で阻害される可能性も。 ・高速が出来ても観光者は増えない。 ・税金負担が増えている日本の国に余裕は無い。(2件) ・道路の保全の事を考えるべき時だ。 ・冬は長坂では通行止めになる。 ・石田委員長がこのアンケートをいい加減だと指摘している。 ・アンケートは民主制の表れであってほしい。 ・東北の震災時高速は封鎖されていた、141号が命の道となる。
建設賛成意見 11件	<ul style="list-style-type: none"> ・賛成だからアンケートを出す必要を感じなかった。 ・中央道ができて便利になった、横断道が出来ればまた便利になる。 ・道はつなげなければ意味がない。

後団022-18

全会場集計表

会場地域	建設反対意見数	建設賛成意見数	中立的意見数
長坂会場	33	1	1
大泉会場	15	0	1
高根会場	26	6	4
小淵沢会場	17	9	8
長坂会場2	25	5	2
小淵沢会場2	27	7	1
清里会場	21	11	7
大泉会場2	32	4	4
須玉会場	21	0	6
須玉会場2	34	11	5
総計	251	54	39

建設反対意見総数 251件

建設賛成意見総数 54件

中立的意見総数 39件